

BIMcloud

START UP GUIDE



目次 -1

BIMcloud Basic と BIMcloud の違い	6
ハードウェア / ソフトウェア条件	7
BIMcloud Basic	8
使用までのフロー	9
BIMcloud Basic- インストールと設定	10
BIMcloud Basic インストール時の注意点	10
インストールプログラムをダウンロード	10
BIMcloud Server のインストール	10
BIMcloud Server の設定	14
BIMcloud Manager のインストール	16
BIMcloud Manager の設定	19
BIMcloud Basic の有効化	25
複数 AC バージョン用のインストール	28
CodeMeter ドライバーのアップデート	29
GRAPHISOFT ID の作成	30
役割について	33
ユーザーの作成	34
フォルダの作成方法	36
プロジェクトを共有する	37
プロジェクトに参加する	39

目次 -2

BIMcloud	41
使用までのフロー	42
BIMcloud- インストールと設定	43
インストールプログラムをダウンロード	43
BIMcloud Manager のインストール	43
BIMcloud Manager の設定	47
BIMcloud Server のインストール	53
BIMcloud Server の設定	57
ライセンスのダウンロード	62
管理画面の開き方	64
簡易モードと詳細モードの違い	65
役割について	67
ユーザー / グループの作成・追加	68
ユーザーの作成	68
グループの作成	69
グループへの追加	70
プロジェクトの共有 / 参加	72
フォルダの作成方法	72
プロジェクトを共有する	73
プロジェクトに参加する	75
ライブラリの共有	77
設定の開き方	80
トラブルシューティングチェックリスト	81
よくある質問	82

BIMcloud Basic と BIMcloud の違い

ここでは BIMcloud Basic と BIMcloud の違いについて紹介します。

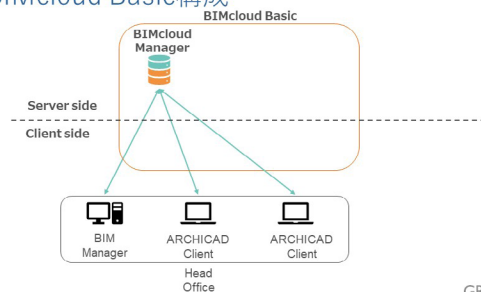
BIMcloud には無償版の「BIMcloud Basic」と有償版の「BIMcloud」が存在します。

細かい違いはいくつもありますが、大きく違う箇所は以下の点です。

- ライセンス (BIMcloud User License) の要不要
 - Archicad のサポートバージョン
 - 管理モード
 - ファイルサーバー機能
- ライセンス (BIMcloud User License) の要不要
- どちらもインストール自体は無償で行うことができます。
- BIMcloud Basic はライセンスが不要ですが、BIMcloud はライセンスが必要となり、同時接続 1 につき 1 ユーザーライセンスが必要です。
- Archicad のサポートバージョンの違い
- BIMcloud Basic は一つの Archicad バージョンのみのサポートとなります。
- 複数の Archicad バージョンのプロジェクトをチームワークで行いたい場合は、バージョンごとに一つずつ BIMcloud Basic を構築する必要があります。
- 対して BIMcloud は複数のバージョンをサポートしておりますので、複数の Archicad バージョンのプロジェクトを 1 つの BIMcloud で管理することができます。
- 管理モードの違い
- BIMcloud のみ役割を簡易モードと詳細モードによって管理することができます。
- BIMcloud Basic は常に簡易モードで設定されています。
- 詳細については 66 ページの「簡易モードと詳細モードの違い」をご確認ください。
- ファイルサーバー機能
- BIMcloud のみ Archicad のファイル形式である、PLN 以外の形式のデータをアップロード出来ます。
- PLN、MOD、PMK、PDF、Excel ファイル、画像ファイルなど

他にも、概略図ではありますが下記のような違いがございます。

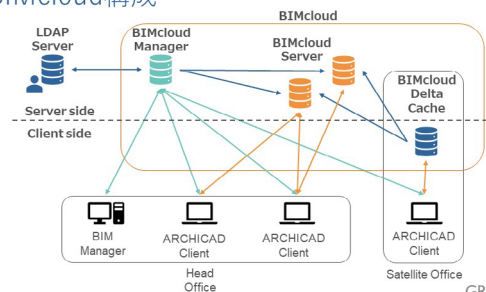
BIMcloud Basic構成



GRAPHISOFT

5

BIMcloud構成



GRAPHISOFT

6

[機能比較](#)の表と併せてご確認ください。

(リンク先：<https://graphisoft.com/jp/solutions/products/bimcloud/details#jarallax-container-5>)

ハードウェア / ソフトウェア条件

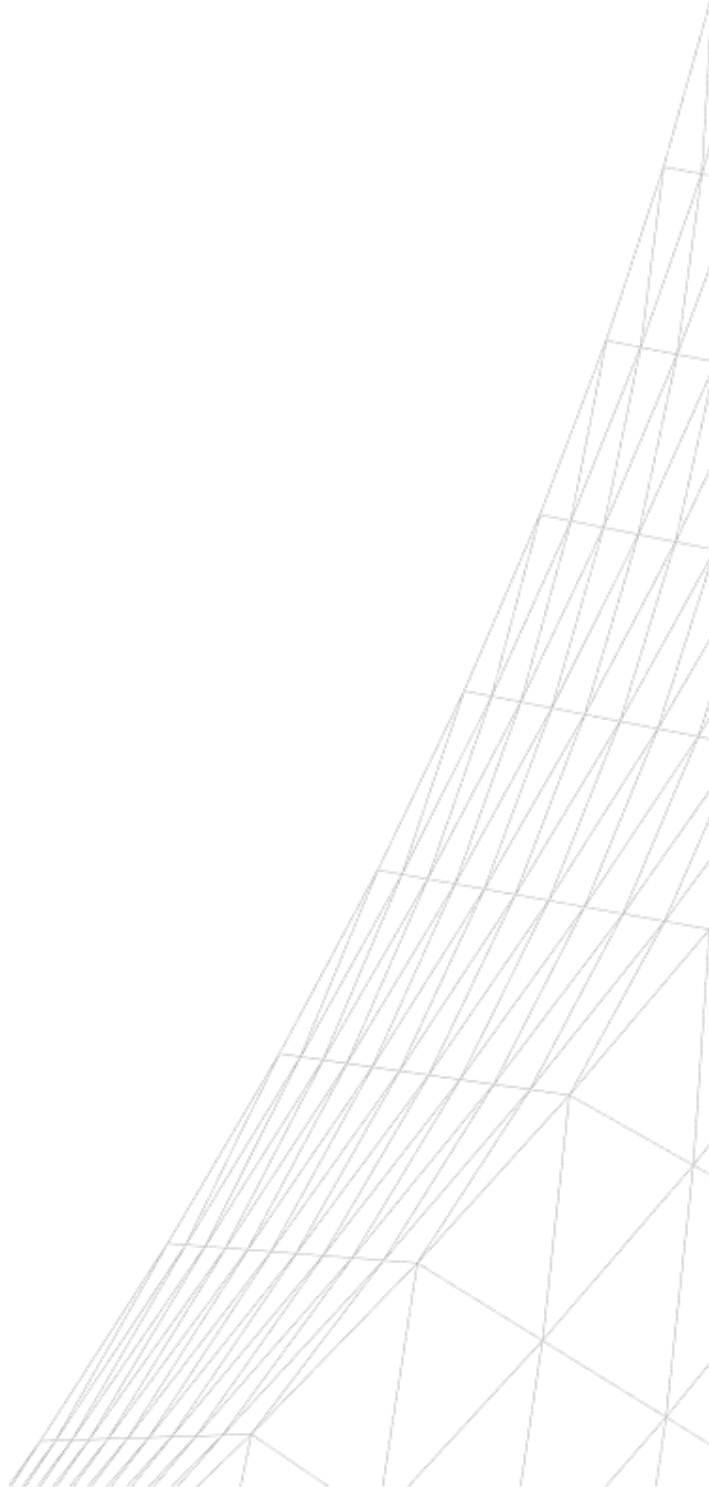
ハードウェア / ソフトウェア条件は、適宜変更されます。

最新のハードウェア / ソフトウェア条件については、[ライセンス / 動作環境](#)を参照してください。

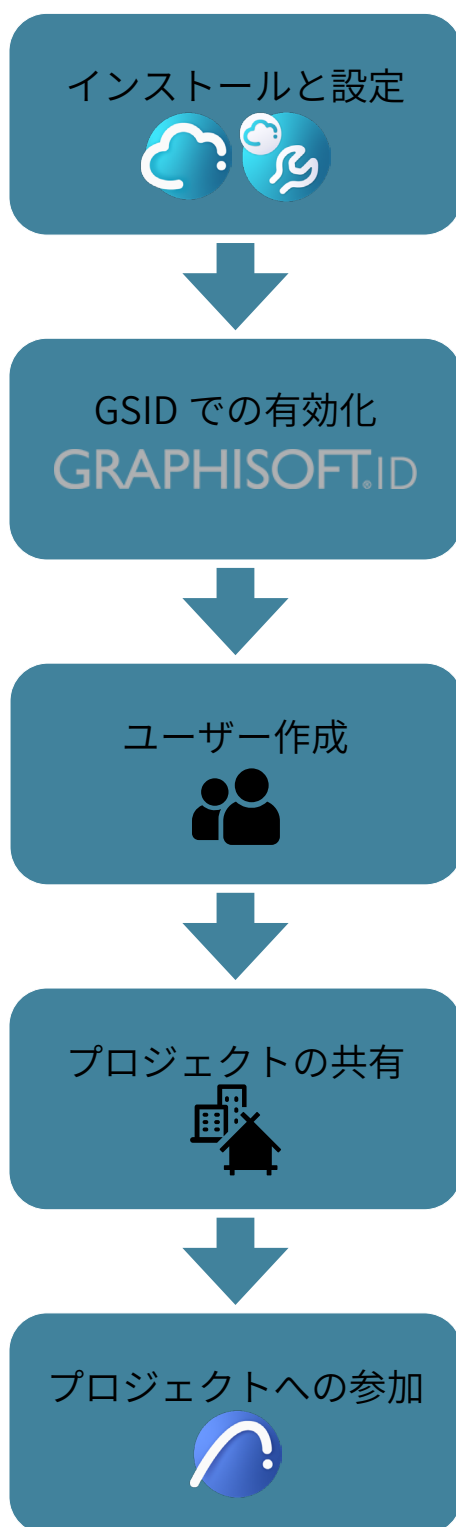
(リンク先：

<https://graphisoft.com/jp/resources-and-support/system-requirements#BIMcloud-system-requirement>)

BIMcloud Basic



使用までのフロー



BIMcloud Basic

BIMcloud Basic- インストールと設定

BIMcloud Basic インストール時の注意点

- BIMcloud Basic は Manager と Server が一緒にインストールされている必要があります。
- アンチウイルスソフトウェアによってインストールデータが除外されてしまう場合があります。
インストール時には一時的にアンチウイルスソフトウェアを停止してください。

インストールプログラムをダウンロード

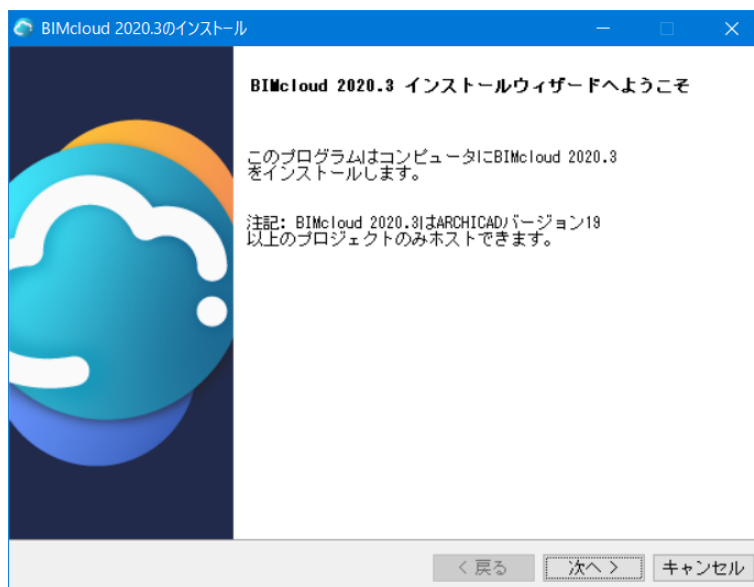
BIMcloud Basic のダウンロードを行います：[BIMcloud Basic をダウンロード](https://www.graphisoft.com/downloads/bimcloud/JPN/)

(リンク先：<https://www.graphisoft.com/downloads/bimcloud/JPN/>)

BIMcloud Server のインストール

1. ダウンロードしたプログラムを実行

インストールプログラムを実行します。



2. 「新規の BIMcloud をインストール」 を選択

BIMcloud Server と BIMcloud Manager が順番にインストールされます。



3. ライセンス契約に「同意」

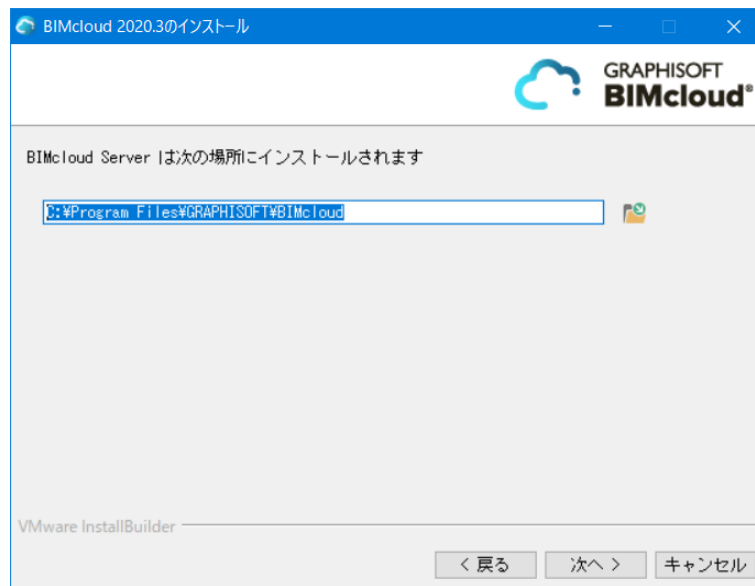
内容をご確認いただき、「同意します」にチェックを入れます。



BIMcloud Basic

4. インストール先の選択

BIMcloud Server のインストール先を選択します。



5. インストール情報の表示

インストールをクリックしてインストールを開始します。



6. インストール完了

設定をクリックして続行します。

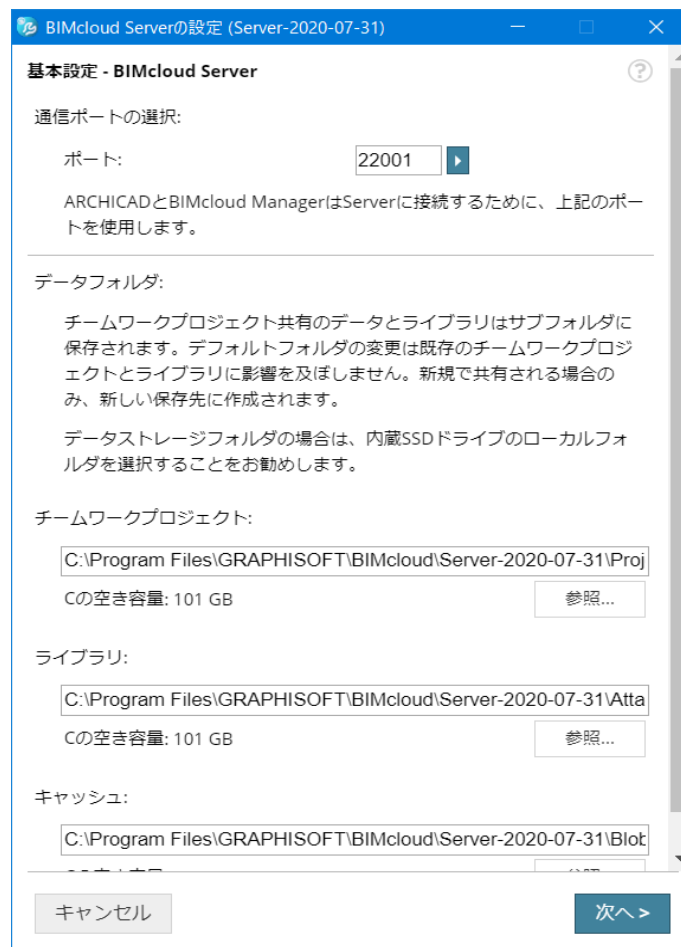


BIMcloud Basic

BIMcloud Server の設定

1. BIMcloud Server の基本設定

通信ポートの設定、データの保存場所（プロジェクト、ライブラリ、キャッシュ）を設定します。



- ポート：空いているポートを自動的に選択しますのでそのまま使用するか、自動的に探してくれる右三角形の「未使用ポートの検索」を使用します。
 - データフォルダ：プロジェクト、ライブラリおよびキャッシュのデフォルトデータフォルダの場所を入力または参照します。この設定は特に変更する必要はありません。
- この BIMcloud Server 上のチームワークプロジェクトおよびライブラリは、上記のフォルダに保存されます。
- デフォルトキャッシュフォルダには、一時チームワークデータが保存されます。これは、チームワーク処理の高速化に使用されます。

次へをクリックして設定を進めます。

2.BIMcloud Server のオプション設定

BIMcloud Server のオプションを設定します。

※ BIMcloud のみの設定となりますので、チェックを付けないように注意してください。
チェックを入れているとオフライン状態になる可能性があります。

BIMcloud Serverの設定 (Server-2020-07-31)

BIMcloudのみの設定 - BIMcloud Server

これらの設定にはBIMcloudユーザーライセンスが必要です。BIMcloud Basicの場合、これらの機能が有効になっていると、BIMcloud Serverがオフラインの状態になる可能性があります。

ファイルストレージ:

C:\PROGRA~1\GRAPHI~1\BIMcloud\SERVER~1\Files

Cの空き容量: 101 GB 参照...

バックアップ:

☐ BIMcloud Server バックアップを有効にする:

参照...

スナップショット:

☐ スナップショットを外部フォルダに保存:

参照...

キャンセル < 戻る ✓ 起動

・ファイルストレージ

この項目は自動的にオンになっていますが、オフラインにはなりません。

BIMcloud にアップグレードした場合の保存先が設定できます。

設定が完了したら [起動] をクリックします。

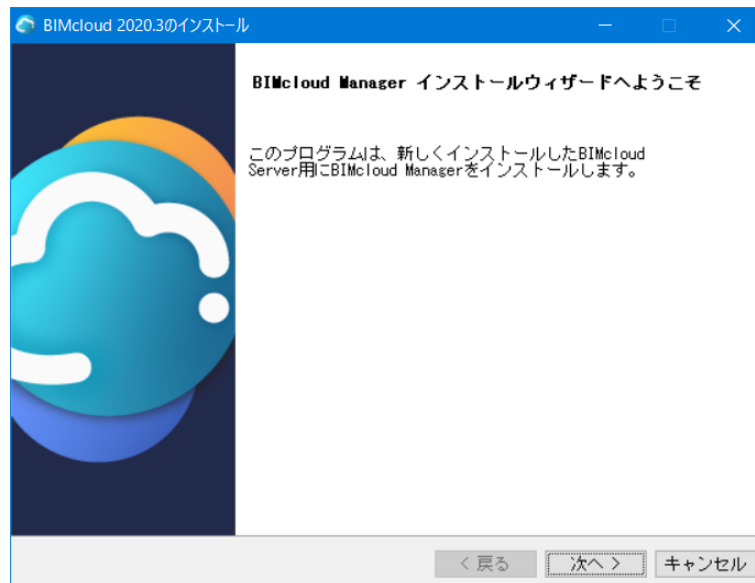
自動的に Manager のインストールも開始されますのでしばらく待ちます。

BIMcloud Basic

BIMcloud Manager のインストール

1. BIMcloud Manager のインストール開始

続いて、BIMcloud Manager のインストールを行います。先ほどと同様にインストールを進めていきます。



2. 表示言語の選択

ブラウザから BIMcloud Manager にアクセスした際のデフォルトの言語を選択します。
日本語で表示させる場合は「日本語」を選択します。



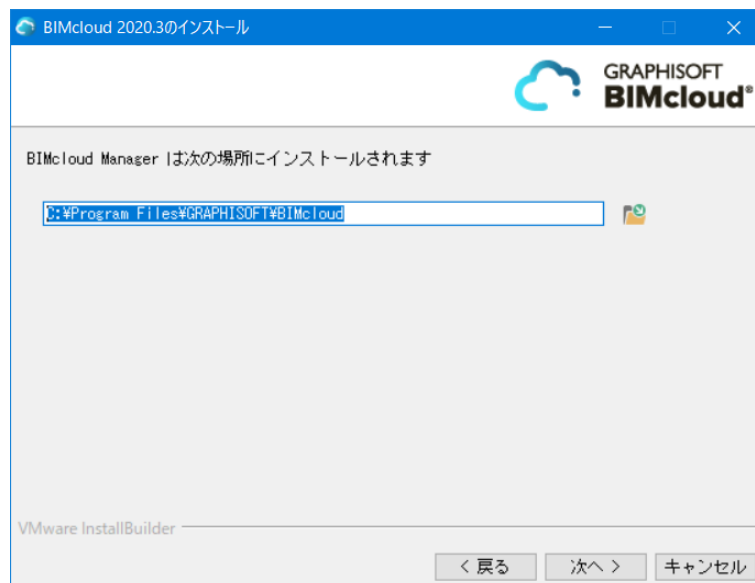
3. ライセンス契約に「同意」

内容をご確認いただき、「同意します」にチェックを入れます。



4. インストール先の選択

インストール先を設定します。



BIMcloud Basic

5. インストール情報の表示

インストールをクリックしてインストールを開始します。



6. インストール完了

設定をクリックして続行します。



BIMcloud Manager の設定

1. BIMcloud Manager の基本設定

BIMcloud の名称、ポート、masteradmin のパスワードを設定します。またデータフォルダの場所を設定します。

- 表示名：デフォルトでは、BIMcloud はコンピュータ名を使用します。
全てのサーバーのポップアップでは、BIMcloud をこの名前で認識します。
BIMcloud Basic を複数インストールする場合はそれぞれ、別の名称を設定することをお勧めします。
- ポート：空いているポートを選択するか、
自動的に探してくれる右三角形の「未使用ポートの検索」を使用します。
- マスター管理者パスワード：マスター管理者（masteradmin）ユーザーの安全なパスワードを作成します。
このマスター管理者は常に BIMcloud Basic へ、ログインすることができ、
ホストされている全てのデータへのフルアクセスが与えられています。
パスワードを忘れた場合には、BIMcloud の再設定（81 ページの「設定の開き方」を参照してください。）
を行い、新しいパスワードを入力する必要があります。
- データフォルダ：これは BIMcloud Manager のデータを格納するフォルダです。

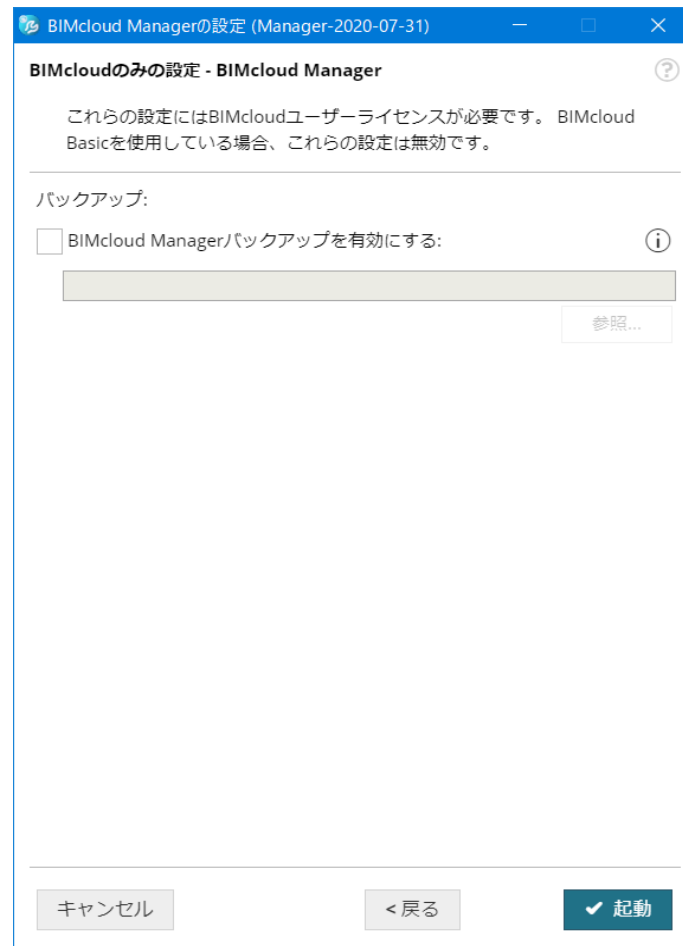
注記：BIMcloud Server の設定ウィザードの最初のページ (14 ページの「BIMcloud Server の設定」) で定義された内容のとおり、プロジェクトは異なるフォルダに保存されます。

BIMcloud Basic

2.BIMcloud Manager のオプション設定

BIMcloud Manager のオプションを設定します。

※ BIMcloud のみの設定となりますので、チェックを付けないように注意してください。
チェックを入れているとオフライン状態になる可能性があります。



[起動] をクリックします。

自動的にブラウザに遷移します。

3. ブラウザでの設定

以降の設定はブラウザで行います。

（ブラウザが自動的に開かない場合は、次の URL をアドレスバーに入力し、開いてください。

「URL：http://localhost:PORT」

PORT は、19 ページの「BIMcloud Manager の設定」で設定したポート番号を記入してください）

ブラウザに遷移すると以下の画面が表示されます。

起動をクリックします。

GRAPHISOFT BIMcloudへようこそ

BIMcloudを構成するには、次の5つの手順に従って下さい:

- 1 マスター管理者 (**masteradmin**)としてログイン
- 2 最初のユーザーを作成
- 3 製品プランの選択
- 4 サーバーアドレス設定
- 5 メールサーバーのセットアップ

今この設定を行わない場合は、後でマスター管理者 (**masteradmin**)としてログインし、手動で設定を完了する必要があります。

起動

4. マスター管理者としてログイン

19 ページの「BIMcloud Manager の設定」で設定した masteradmin パスワードを入力します。

マスター管理者 (**masteradmin**)としてログイン

ソフトウェアのインストール時に作成した、マスター管理者 (**masteradmin**) のパスワードを入力して下さい。

パスワード

パスワード

続行

BIMcloud Basic

5. 最初のユーザーを作成

マスター管理者以外のユーザーを作成します。

このユーザーは BIMcloud Manager の最初のサーバー管理者になります。

最初のユーザーを作成

フルネーム

ログイン名

パスワード

パスワードを確認

メール

役割

全ての項目にフルアクセス

続行

6. 製品プランの選択

BIMcloud 製品プランを選択します。「BIMcloud Basic」を選択して、バージョンを選択します。

BIMcloud Basic は Archicad のバージョン毎での動作となります。

製品プランの選択

BIMcloud製品プランを選択して下さい。

BIMcloudを選択した場合、後でBIMcloud Basicにダウングレードできます。

BIMcloud Basicを選択した場合、このサーバーで使用するARCHICADバージョンを1つ選択して下さい。後でBIMcloudにアップグレードできます。

☐ BIMcloud

☐ BIMcloud Basic (旧称 BIM Server)

ARCHICADバージョンの選択:

該当なし

続行

7. サーバーアドレス設定

Archicad からアクセスするアドレスを指定します。

コンピュータ名、IP アドレス、会社のドメインが使用できます。

現在のアドレスを表示をクリックすると使用可能なアドレスが選択できます。

サーバーアドレス設定

ARCHICADのからこのサーバーへの接続に使用可能なアドレスを入力してください。

コンピュータ名、固定IPアドレスまたは、会社のドメインを使用。例:
<http://computer-name:22000> (お使いのコンピュータのネットワーク名)
<http://192.168.12.34:22000> (お使いのコンピュータの固定IPアドレス)
<http://bimserver.company.com:22000> (会社ドメイン名)

推奨されるネットワーク設定の[オンラインガイド](#)を読んで下さい。

現在のアドレスを表示...

続行

8. メールサーバーの設定

ユーザーに通知をメールで行う場合に使用するメールサーバーの設定をします。

メールでの通知を行わない場合や後で設定を行う場合は、この設定をスキップできます。

メールサーバーのセットアップ

SMTPサーバー

ポート

セキュリティ

アドレス

☐ サーバーは認証を必要とします

この設定をスキップ

続行

BIMcloud Basic

9. 設定完了

設定が完了すると次のメッセージが表示されます。

このまま GRAPHISOFT ID で有効化を行います。

「マスター管理者として続行」をクリックします。

設定が完了しました

BIMcloudへのインストールが正常に完了しました。

マスター管理者として続行

ログアウト

BIMcloud Basic の有効化

使用を開始するには、BIMcloud Basic の有効化が必要です。

GRAPHISOFT ID を使用して有効化を行います。

以下のようにトップページに表示されている有効化ボタンをクリックするか



ホーム > サーバー > BIMcloud Basic Manager > ライセンス でも有効化が行えます。



「有効化」のボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。

内容を確認し、「続行」をクリックします。



BIMcloud Basic

GRAPHISOFT ID に使用したメール、パスワードを入力します。

GRAPHISOFT ID を作成されていない場合は、30 ページの「GRAPHISOFT ID の作成」を参考に、「GRAPHISOFT ID の登録 / 管理」から新規作成してください。



サインイン

[GRAPHISOFT IDの登録/管理](#)

メール

パスワード

[キャンセル](#)

GRAPHISOFT ID でサインインが完了したら、「有効化」のボタンをクリックします。



BIMcloud Basicの有効化

 サインインアカウント:
会社名

有効ボタンをクリックし、BIMcloud Basicを有効化してください。

[キャンセル](#)

有効化が完了すると、下記のメッセージが表示されます。

BIMcloud Basicの有効化



BIMcloud Basicは正常に有効化されました

BIMcloud Basicの起動

「BIMcloud Basic の起動」をクリックするとホームページが表示されます。
これでインストールは完了です。

BIMcloud Basic 複数 AC バージョン用のインストール

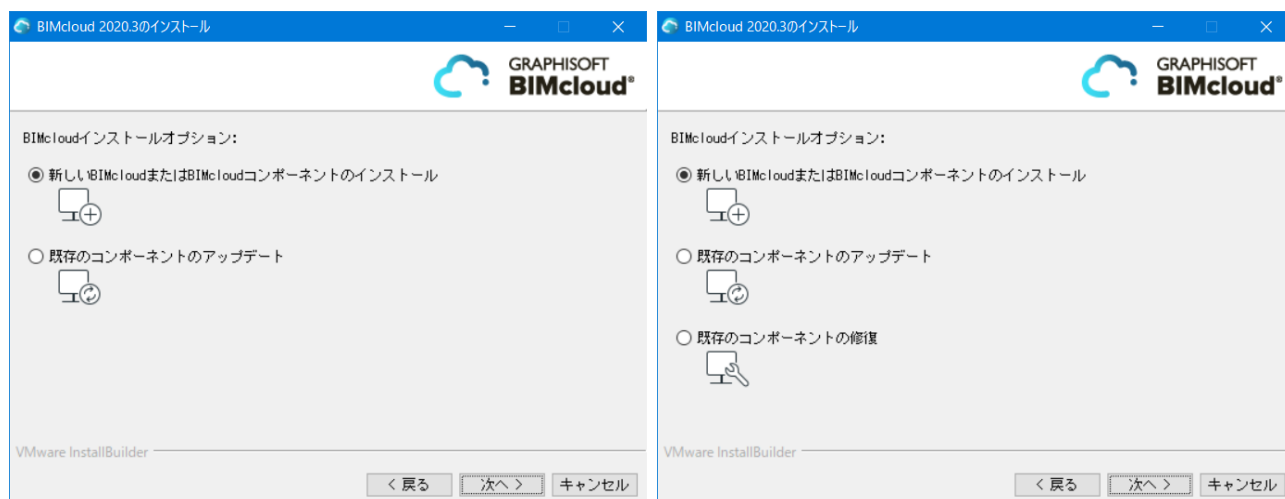
※同一のコンピュータに複数の BIMcloud Basic をインストールすることは推奨されていません。

複数の BIMcloud Basic をインストールする場合は、Archicad のバージョン移行などで一時的に必要な場合に限ってください。

別のACバージョン用のBIMcloud Basicをインストールする場合は、同じインストーラを再度開始してインストールを行ってください。

22 ページの「6.製品プランの選択」の手順の際に、「BIMcloud Basic」を選択して、別のバージョンを選択し、「続行」をクリックします。

すでに BIMcloud Basic がインストールされている状態でインストーラーを再度開始すると、以下のような画面が表示されます。



どちらの場合でも一番上の「新しい BIMcloud または BIMcloud コンポーネントのインストール」を選択すると 10 ページの「BIMcloud Basic- インストールと設定」と同じ画面に進むことができます。

左の画像の場合は既に同じバージョン (2020.3) の BIMcloud Basic がインストールされています。
別の AC バージョン用にインストールを行う場合は 22 ページの「6. 製品プランの選択」の際に既に選択した AC バージョンを選択しないように注意してください。

不具合は起きませんが、見分けるのが困難となります。

右の画像の場合は別のバージョン（例：2020.1 など）の BIMcloud Basic がインストールされています。
BIMcloud Basic のバージョンを上げる際に使用する項目になります。

複数 BIMcloud Basic をインストールする場合は、名称の設定にも注意が必要です。

19 ページの「BIMcloud Manager の設定」の際にデフォルトでコンピューター名が設定されるようになっていますが、全く同じ名前ですと区別が難しくなりますのでなるべく別の名称を設定するようにしてください。

CodeMeter ドライバーのアップデート

※ CodeMeter ドライバーをアップデートした場合は、

必ず CodeMeter サービスの再起動もしくはコンピュータの再起動を行なってください。

古いバージョンの BIMcloud Basic がインストールされている状態で最新のインストーラーを進めると、以下のような画面が表示される場合があります。



これはインストーラーが自動的に CodeMeter ドライバーが古いバージョンであることを検出しているためです。

使用するためにはアップデートが必要となりますので、そのまま次へと進めてください。

CodeMeter のアップデートがある場合には 18 ページの「5. インストール情報の表示」が以下の表示となります。



GRAPHISOFT ID の作成

GRAPHISOFT ID については、[GRAPHISOFT ID とは](#)をご参照ください。

(リンク先: <https://support.graphisoft.co.jp/hc/ja/articles/115002176613>)

登録方法

GRAPHISOFT ID 登録ページの [登録] ボタンをクリックしてください。

※メールアドレスを利用してご登録ください。

GRAPHISOFT.ID

ようこそ

GRAPHISOFT IDは、GRAPHISOFTのウェブサイトのための認証システムです。GRAPHISOFT IDをお持ちでない方は、登録にすすんでください。

登録

画面のメッセージに従い進めていただき、登録を完了します。

※パスワードの必要条件をご確認ください

登録

GRAPHISOFT ウェブサイトにアクセスするには、GSIDに有効なメールアドレスを使用して登録する必要があります。このGSIDを使用してGRAPHISOFTのウェブサイトにサインインできます。すでに他のGRAPHISOFT ウェブサイトで登録されている場合は、前のページに戻り、サインインをしてください。

国* Japan

名* GRAPHI

姓* SOFT

メールアドレス* graphi-soft@.co.jp

パスワード*

パスワードの必要条件:

- 6文字以上が必要です
- 英小文字が1文字以上必要です
- 英大文字が1文字以上必要です
- 最低1文字の数字が必要です
- ご自分のメールアドレスをパスワードとして使用できません
- スペース、句読点、漢字などを含むことはできません

入力されたパスワードでは、セキュリティ必要条件を満たしていません。

パスワードを再入力*

会社名

連絡設定 ☐ グラフィソフトおよび特約店から、製品およびサービスに関する情報を受け取ることに同意します。

「サインイン」ボタンをクリックすることで、[利用規約](#) GRAPHISOFT IDについて [プライバシーポリシー](#) に同意したものとみなします。

登録

すべての入力が完了しましたら、[登録] をクリックします。

登録

GRAPHISOFT ウェブサイトにアクセスするには、GSIDに有効なメールアドレスを使用して登録する必要があります。このGSIDを使用してGRAPHISOFTのウェブサイトにサインインできます。すでに他のGRAPHISOFT ウェブサイトで登録されている場合は、前のページに戻り、サインインをしてください。

国*

名*

姓*

メールアドレス*

パスワード*

パスワードを再入力*

会社名

連絡設定 ☐ グラフィソフトおよび特約店から、製品およびサービスに関する情報を受け取ることに同意します。

「サインイン」 ボタンをクリックすることで、[利用規約](#) GRAPHISOFT IDについて [プライバシーポリシー](#) に同意したものとみなします。

次の画面になりましたら、メールボックスを確認してください。

GRAPHISOFT.ID

登録はほぼ完了しました。

指定されたメールアドレス宛に、確認メールが送信されました。メール内のリンクをクリックするか、登録を完了するため確認コードを入力してください。数分でメールが届かない場合は、ジャンク/スパムメールフォルダを確認するか、graphisoftid@graphisoft.comまでご連絡ください

[About](#) [Privacy Policy](#) [Terms of Use](#)

Copyright © 2016 GRAPHISOFT SE. All rights reserved.

GRAPHISOFT is part of the Nemetschek Group

リンクをクリックします。

登録を確認して下さい

SOFT GRAPHI 様

GRAPHISOFT オンラインサービスにご関心をお寄せいただき、ありがとうございます。登録を進めるには、確認のために、次のリンクをクリックしてください:

[dfa83eae-3424-4e93-be11-3d94d4bb6cc8](#)

確認リンクが機能しない場合には、以下の手順を参照してください。

注記: この確認リンクは24時間で無効になります。

参加していただき、ありがとうございます!

GRAPHISOFTチーム

BIMcloud Basic

こちらで登録が完了しました。

GRAPHISOFT.ID

おめでとうございます!

正常に GRAPHISOFT ID を作成しました。全ての GRAPHISOFT ウェブサイトにアクセスできます。

www.graphisoft.com
www.myarchicad.com
www.bimcomponents.com
bimx.graphisoft.com

いくつかのサイトでは、アカウント作成中に追加情報を求められます。

[About](#) [Privacy Policy](#) [Terms of Use](#)

Copyright © 2016 GRAPHISOFT SE. All rights reserved.

GRAPHISOFT is part of the Nemetschek Group

「このメールアドレスは登録済みです。サインインしてください」と表示される場合 ...

以前、Archicad 体験版や学生版を利用されたことがある場合、MY Archicad.COM にてアカウントを作成されており、そちらで同じメールアドレスを使用されている場合は上記のメッセージが表示されます。MY Archicad.COM にて登録されたメールアドレスとパスワードは引き続き、GRAPHISOFT ID として利用することができます。

BIMcloud Basic 役割について

役割は、ユーザーまたはグループが BIMcloud Manager または Archicad チームワークプロジェクトの両方で、特定の要素タイプやデータタイプに対して何ができるかの設定です。

役割と役割に対するアクセス権を表示および変更するには、[役割] ページを使用します。



選択した役割ごとに [設定] パネルが使用できます。

これらのコントロールを使用して、役割に対してアクセス権を定義します。



役割の詳細な設定項目については

[アクセス権のリスト](#)をご確認ください。

(リンク先：https://help.graphisoft.com/BC/JPN/index.htm?rhcsh=1&rhnewwnd=0#t=_BIMcloud_%2F30_BIMcloudManager%2F30_BIMcloudManager-97.htm)

ユーザーの作成

BIMcloud Manager の管理画面を開きます。(65 ページの「管理画面の開き方」を参照してください。)

22 ページの「5. 最初のユーザーを作成」で作成したユーザーでログインするか、

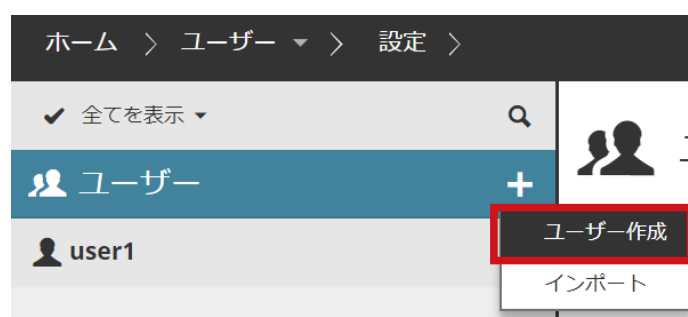
19 ページの「1.BIMcloud Manager の基本設定」で入力した” masteradmin” でログインします。

ホーム画面のメニューの「ユーザー」をクリックします。

※ BIMcloud Basic のバージョンによって少し位置が変わります。



サイドバーの「+」から「ユーザーの作成」をクリックします。



必要事項を入力し、「次へ」をクリックします。

※ログイン名は変更できませんのでご注意ください。

BIMcloud Basic

メールアドレス、管理モード、役割を設定し、保存をします。

Archicad から BIMcloud にログインするときは、ログイン名と前の画面のパスワードを使用します。



管理モードの違いは下記の表のとおりです。

	サーバー管理者	プロジェクト管理者
プロジェクト	フルアクセス	フルアクセス
ユーザー	フルアクセス	表示のみ
役割	フルアクセス	表示のみ
サーバー	フルアクセス	表示のみ
ARCHICAD プロジェクト	付与されたアクセス権に 依存	付与されたアクセス権に 依存

フォルダの作成方法

BIMcloud Basic では、チームワークプロジェクトを共有するための保存先をフォルダ階層で分けて管理できます。

BIMcloud Manager の管理画面を開きます。(65 ページの「管理画面の開き方」を参照してください。)

ホーム画面のメニューの「プロジェクト」をクリックします。

※ BIMcloud Basic のバージョンによって少し位置が変わります。



「プロジェクト」の右側の「+」をクリックして、「フォルダを作成」をクリックします。



フォルダ名を入力し、「作成」をクリックします。



BIMcloud Basic

プロジェクトを共有する

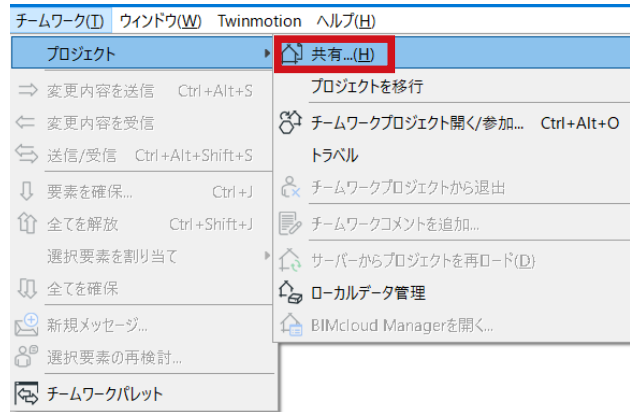
BIMcloud Basic へのプロジェクト共有 / 参加は、Archicad から行います。

どちらも BIMcloud Basic のユーザーでログインして行いますので、

事前に共有 / 参加するユーザーをご準備ください。(35 ページの「ユーザーの作成」を参照してください。)

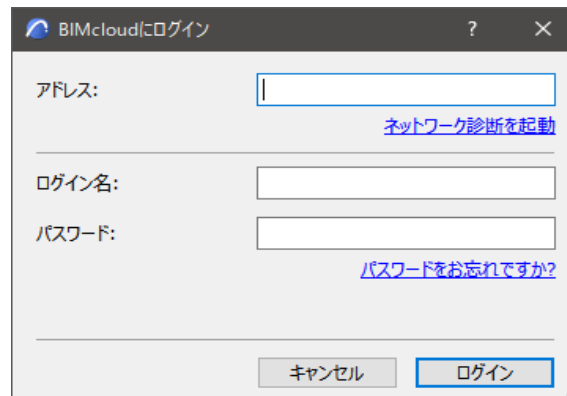
Archicad を起動します。新規に作成するか、もしくは既にプロジェクトがある場合はそちらを開きます。

[チームワーク] > [プロジェクト] > [共有] をクリックします。



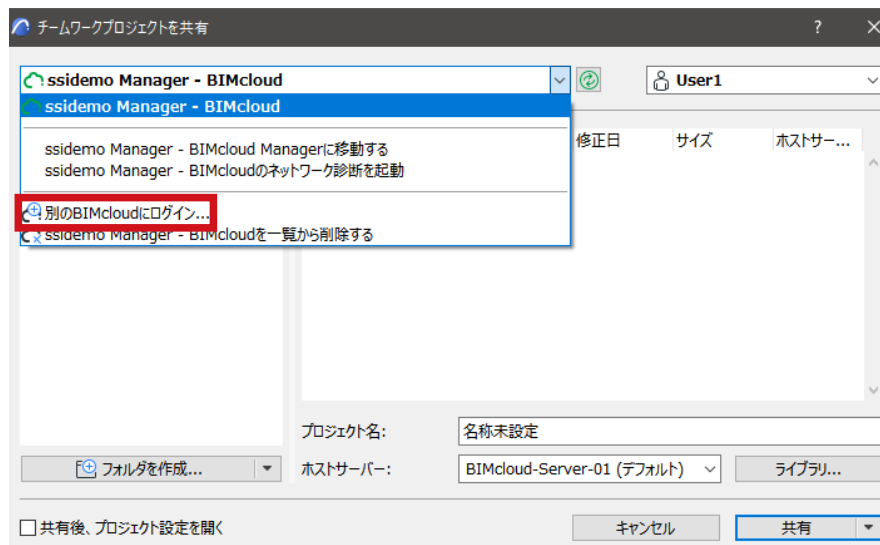
初めてチームワークを行う場合はログイン画面が表示されます。

BIMcloud Basic のアドレス、参加するユーザー名とパスワードを入力します。

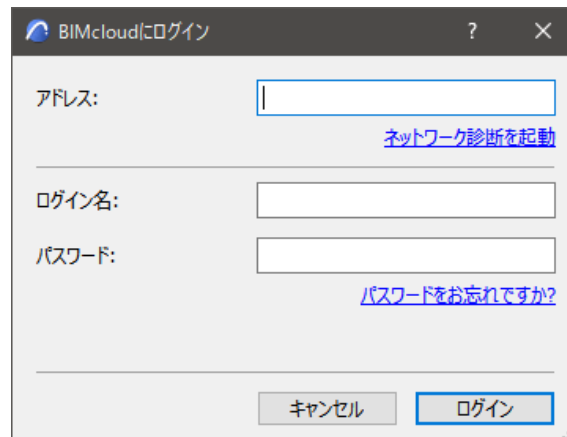


既に参加したことのある場合は、プロジェクトを共有したいサーバーを選択します。

新規のサーバーに共有したい場合は、「別の BIMcloud にログイン…」を選択します。

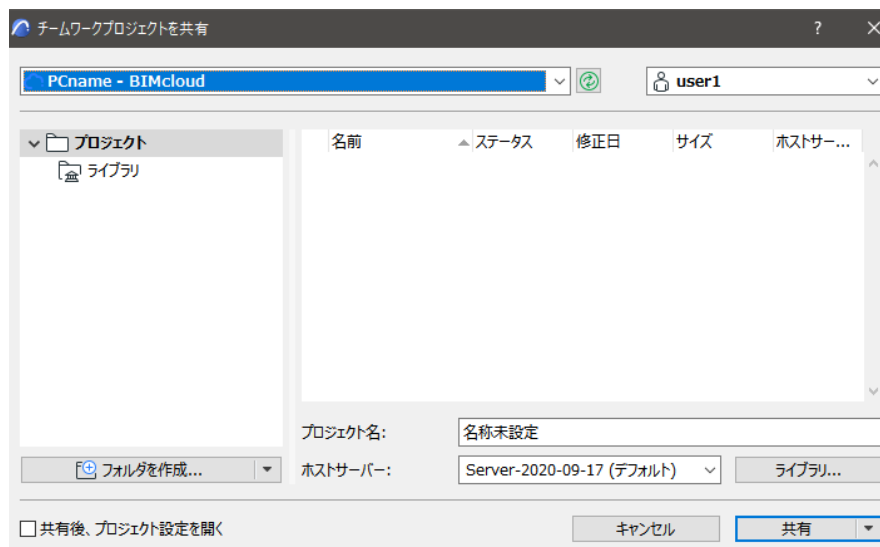


ログイン画面が表示されますので、
BIMcloud Basic のアドレス、参加するユーザー名とパスワードを入力します。



The login dialog box has a title bar 'BIMcloudにログイン'. It contains three input fields: 'アドレス:' (Address), 'ログイン名:' (Login name), and 'パスワード:' (Password). Below the address field is a link 'ネットワーク診断を起動' (Start network diagnosis). Below the password field is a link 'パスワードをお忘れですか?' (Forgot your password?). At the bottom are 'キャンセル' (Cancel) and 'ログイン' (Login) buttons.

ログインが完了しましたら、共有先を選択し共有をクリックします。
(共有ボタンの右にある▼をクリックすると参加せずに共有のみ行えます。)



The share dialog box has a title bar 'チームワークプロジェクトを共有' (Share teamwork project). It shows a dropdown for 'PName - BIMcloud' and a user selection dropdown for 'user1'. On the left is a tree view with 'プロジェクト' (Project) and 'ライブラリ' (Library). The main area is a table with columns: '名前' (Name), 'ステータス' (Status), '修正日' (Last modified), 'サイズ' (Size), and 'ホストサー...' (Host server). Below the table are input fields for 'プロジェクト名:' (Project name) with '名称未設定' (Name not set) and 'ホストサーバー:' (Host server) with 'Server-2020-09-17 (デフォルト)' (Server-2020-09-17 (Default)). There is a 'フォルダを作成...' (Create folder...) button. At the bottom is a checkbox '共有後、プロジェクト設定を開く' (After sharing, open project settings) and '共有' (Share) button with a dropdown arrow.

BIMcloud Basic プロジェクトに参加する

Archicad を起動します。

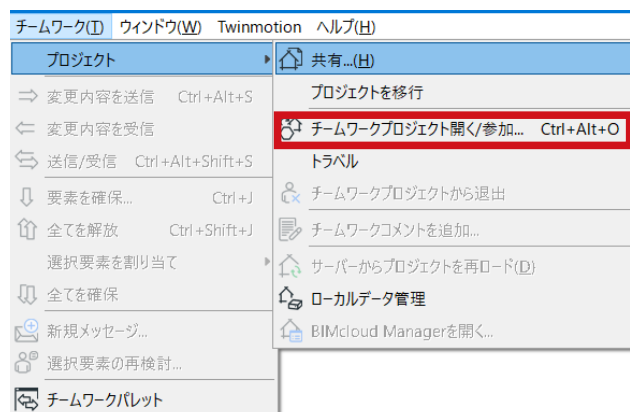
Archicad24 の場合は「Archicad 24 を起動」画面が表示されますので

チームワークを選択します。



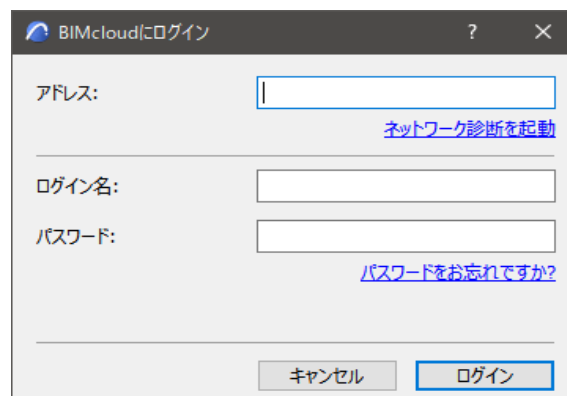
プロジェクトを開いてる画面からは

[チームワーク]>[プロジェクト]>[チームワークプロジェクト開く / 参加]をクリックします。



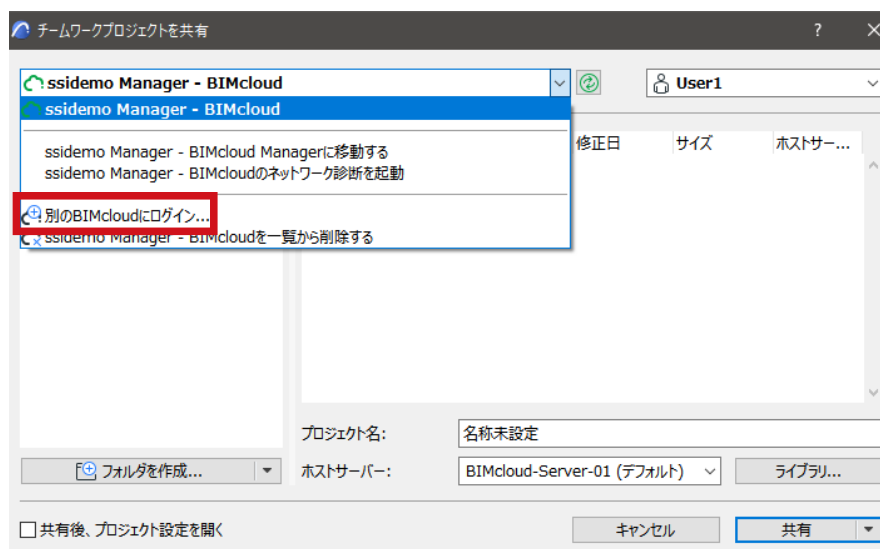
初めてチームワークに参加する場合はログイン画面が表示されます。

BIMcloud Basic のアドレス、参加するユーザー名とパスワードを入力します。



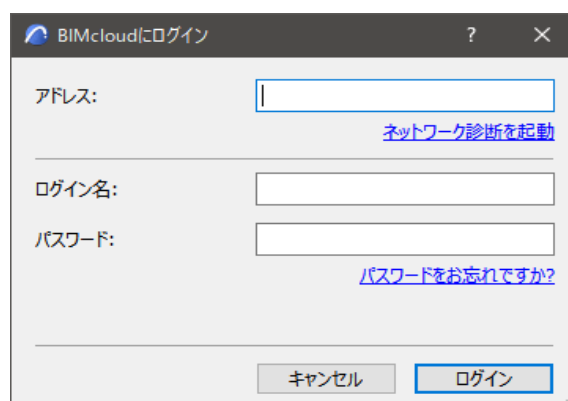
既に参加したことのある場合は、プロジェクトが共有されているサーバーを選択します。

別のサーバーに参加したい場合は、「別の BIMcloud にログイン…」を選択します。

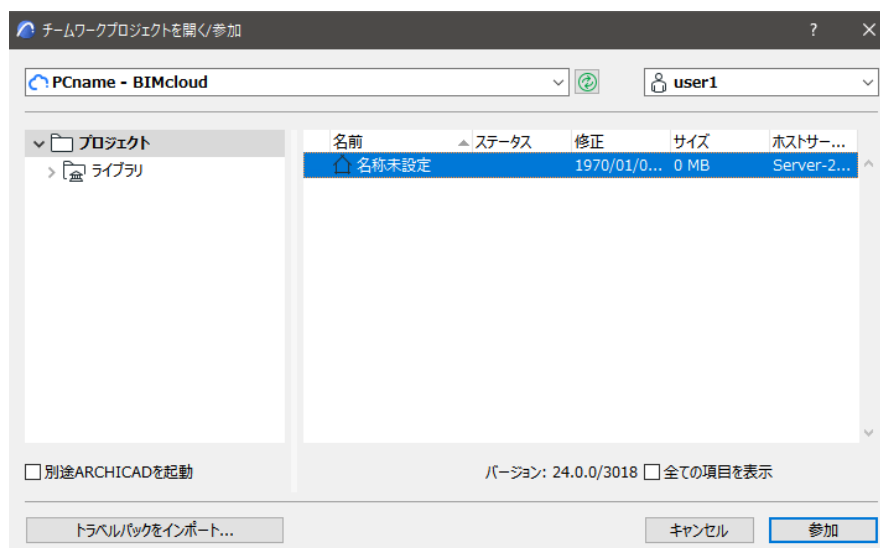


ログイン画面が表示された場合は、BIMcloud Basic のアドレス、参加するユーザー名とパスワードを入力します。

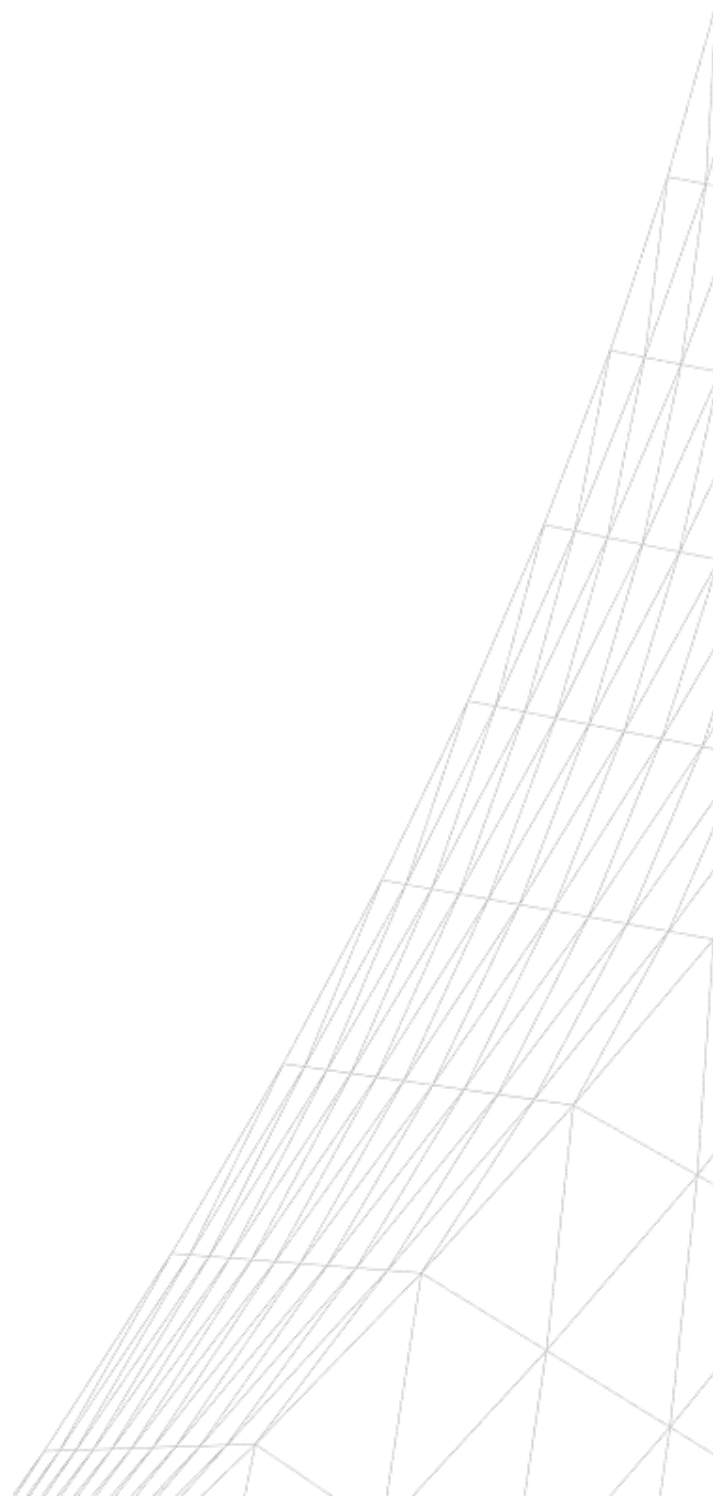
※アドレスが既に入力されている場合は自分が参加したいサーバと一致しているか確認してください。



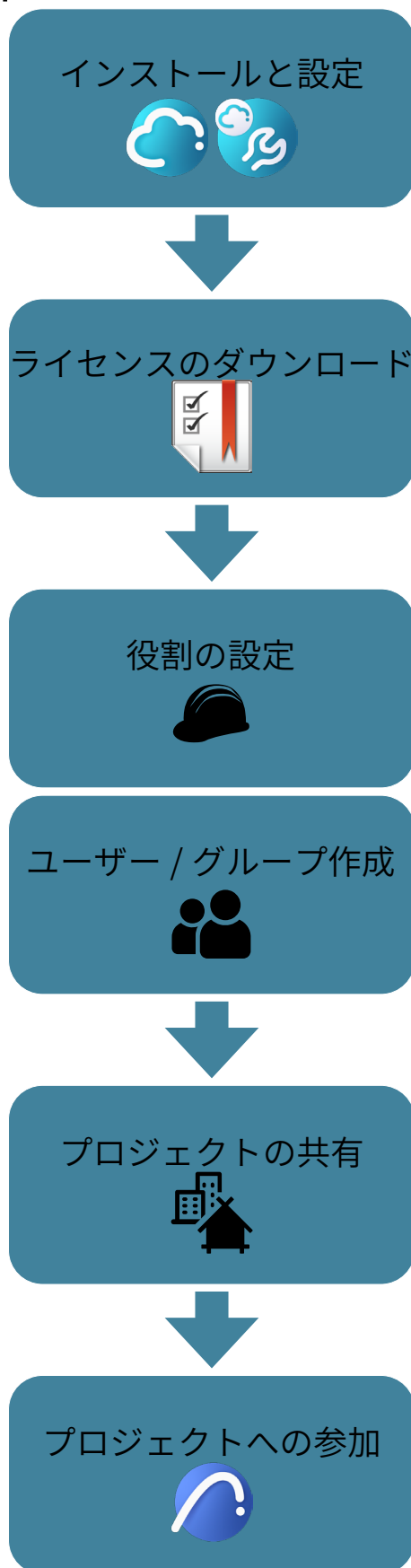
ログインが完了しましたら、参加したいプロジェクトを選択し参加をクリックします。



BIMcloud



使用までのフロー



BIMcloud

BIMcloud- インストールと設定

インストールプログラムをダウンロード

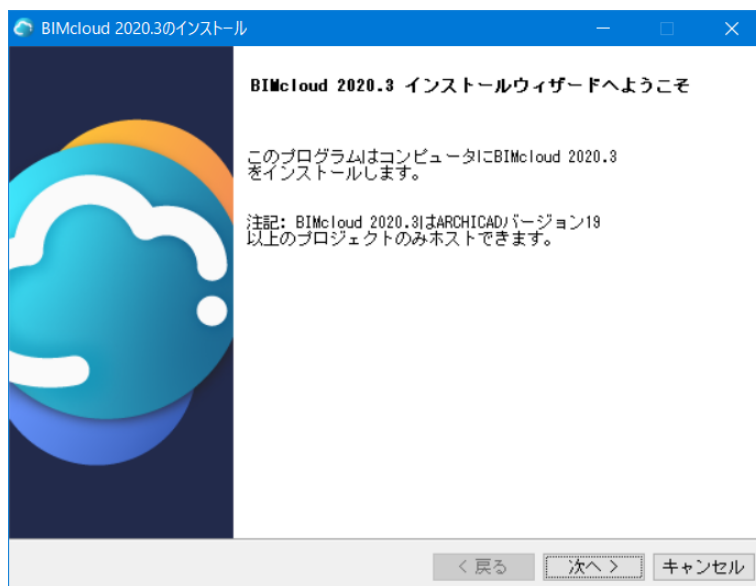
BIMcloud のダウンロードを行います：[BIMcloud をダウンロード](https://www.graphisoft.com/downloads/bimcloud/JPN/)

(リンク先：<https://www.graphisoft.com/downloads/bimcloud/JPN/>)

BIMcloud Manager のインストール

1. ダウンロードしたプログラムを実行

インストールプログラムを実行します。



2. セットアップタイプの選択

「単一のコンポーネントのインストール」を選択します。



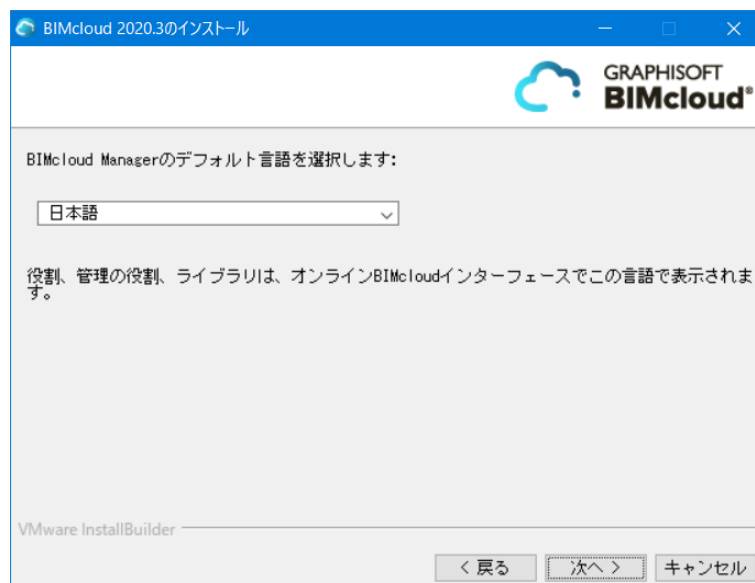
3. インストールするコンポーネントを選択

BIMcloud Manager を選択します。



4. 表示言語の選択

ブラウザから BIMcloud Manager にアクセスした際のデフォルトの言語を選択します。
日本語で表示させる場合は「日本語」を選択します。



BIMcloud

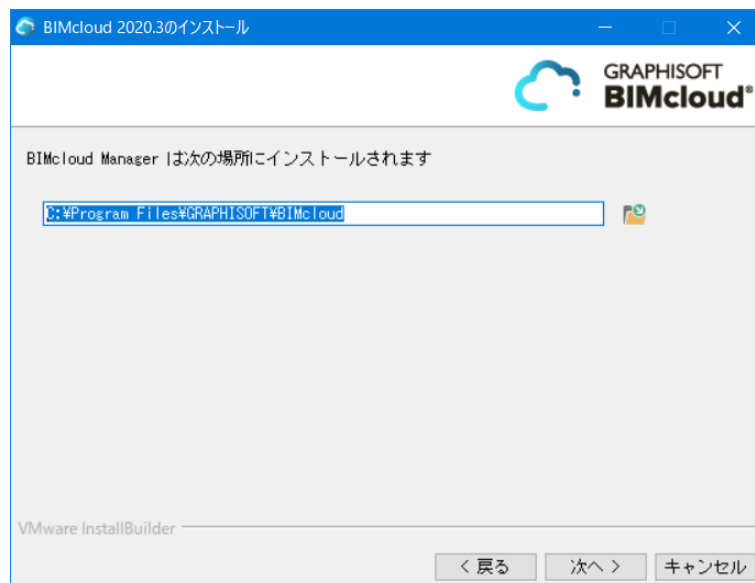
5. ライセンス契約に「同意」

内容をご確認いただき、「同意します」にチェックを入れます。



6. インストール先の選択

インストール先を設定します。



7. インストール情報の表示

インストールをクリックしてインストールを開始します。



8. インストール完了

設定をクリックして続行します。



BIMcloud

BIMcloud Manager の設定

1. BIMcloud Manager の基本設定

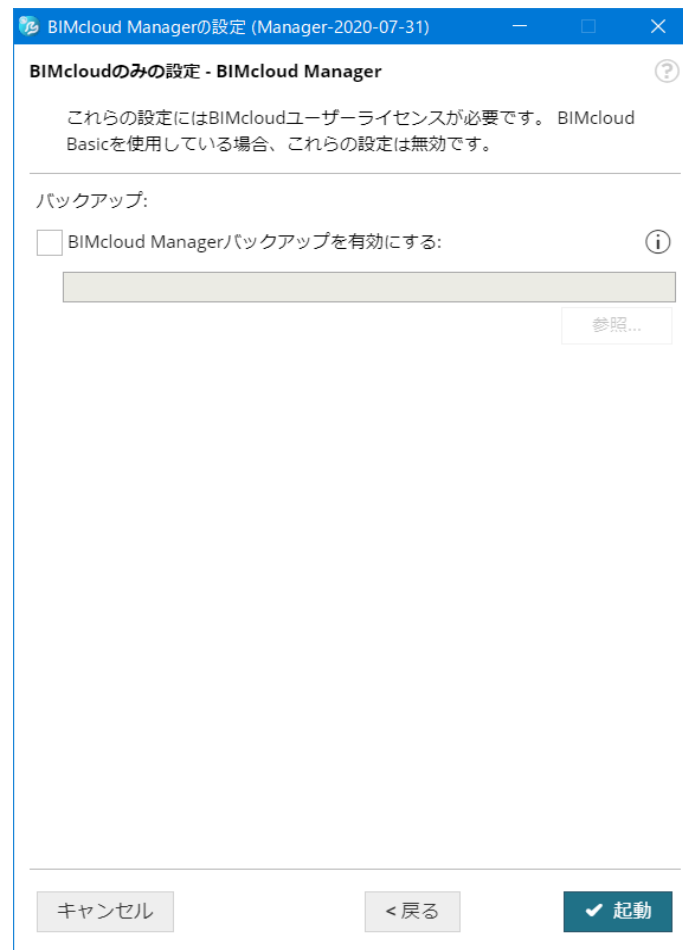
BIMcloud の名称、ポート、masteradmin のパスワードを設定します。またデータフォルダの場所を設定します。

- 表示名：デフォルトでは、BIMcloud はコンピュータ名を使用します。
全てのサーバーのポップアップでは、BIMcloud をこの名前で認識します。
- ポート：空いているポートを選択するか、
自動的に探してくれる右三角形の「未使用ポートの検索」を使用します。
- マスター管理者パスワード：マスター管理者（masteradmin）ユーザーの安全なパスワードを作成します。
このマスター管理者は常に BIMcloud へ、ログインすることができ、
ホストされている全てのデータへのフルアクセスが与えられています。
パスワードを忘れた場合には、BIMcloud の再設定（81 ページの「設定の開き方」を参照してください。）
を行い、新しいパスワードを入力する必要があります。
- データフォルダ：これは BIMcloud Manager のデータを格納するフォルダです。

注記：プロジェクトは異なるフォルダに保存されます。この後の BIMcloud Server の設定ウィザードの最初のページ（58 ページの「BIMcloud Server の設定」）で定義する内容となります。

2.BIMcloud Manager のオプション設定

BIMcloud Manager のオプションを設定します。



- BIMcloud Manager バックアップを有効にする：

BIMcloud Manager データのバックアップを作成する場合はこのボックスをオンにします。

このボックスをオンにした場合、バックアップフォルダの保存先のパスを入力（または参照）する必要があります。

設定が完了したら [起動] をクリックします。

自動的にブラウザに遷移します。

BIMcloud

3. ブラウザでの設定

以降の設定はブラウザで行います。

(ブラウザが自動的に開かない場合は、次の URL をアドレスバーに入力し、開いてください。)

「URL : http://localhost:PORT」

PORT は、48 ページの「BIMcloud Manager の設定」で設定したポート番号を記入してください
ブラウザに遷移すると以下の画面が表示されます。

起動をクリックします。

GRAPHISOFT BIMcloudへようこそ

BIMcloudを構成するには、次の5つの手順に従って下さい:

- 1 マスター管理者 (**masteradmin**)としてログイン
- 2 最初のユーザーを作成
- 3 製品プランの選択
- 4 サーバーアドレス設定
- 5 メールサーバーのセットアップ

今この設定を行わない場合は、後でマスター管理者 (masteradmin)としてログインし、手動で設定を完了する必要があります。

起動

4. マスター管理者としてログイン

48 ページの「BIMcloud Manager の設定」で設定した masteradmin パスワードを入力します。

マスター管理者 (**masteradmin**)としてログイン

ソフトウェアのインストール時に作成した、マスター管理者 (masteradmin) のパスワードを入力して下さい。

パスワード

パスワード

続行

5. 最初のユーザーを作成

マスター管理者以外のユーザーを作成します。

このユーザーは BIMcloud Manager の最初のサーバー管理者になります。

最初のユーザーを作成

フルネーム

ログイン名

パスワード

パスワードを確認

メール

役割

全ての項目にフルアクセス

続行

6. 製品プランの選択

BIMcloud 製品プランを選択します。「BIMcloud」を選択します。

製品プランの選択

BIMcloud製品プランを選択して下さい。

BIMcloudを選択した場合、後でBIMcloud Basicにダウングレードできます。

BIMcloud Basicを選択した場合、このサーバーで使用するARCHICADバージョンを1つ選択して下さい。後でBIMcloudにアップグレードできます。

☐ BIMcloud

☐ BIMcloud Basic (旧称 BIM Server)

ARCHICADバージョンの選択:

該当なし

続行

BIMcloud

7. サーバーアドレス設定

Archicad からアクセスするアドレスを指定します。

コンピュータ名、IP アドレス、会社のドメインが使用できます。

現在のアドレスを表示をクリックすると使用可能なアドレスが選択できます。

サーバーアドレス設定

ARCHICADのからこのサーバーへの接続に使用可能なアドレスを入力してください。

コンピュータ名、固定IPアドレスまたは、会社のドメインを使用。例:
http://computer-name:22000 (お使いのコンピュータのネットワーク名)
http://192.168.12.34:22000 (お使いのコンピュータの固定IPアドレス)
http://bimserver.company.com:22000 (会社ドメイン名)

推奨されるネットワーク設定の[オンラインガイド](#)を読んで下さい。

現在のアドレスを表示...

続行

8. メールサーバーの設定

ユーザーに通知をメールで行う場合に使用するメールサーバーの設定をします。

メールでの通知を行わない場合や後で設定を行う場合は、この設定をスキップできます。

メールサーバーのセットアップ

SMTPサーバー

ポート

セキュリティ

該当なし

アドレス

☐ サーバーは認証を必要とします

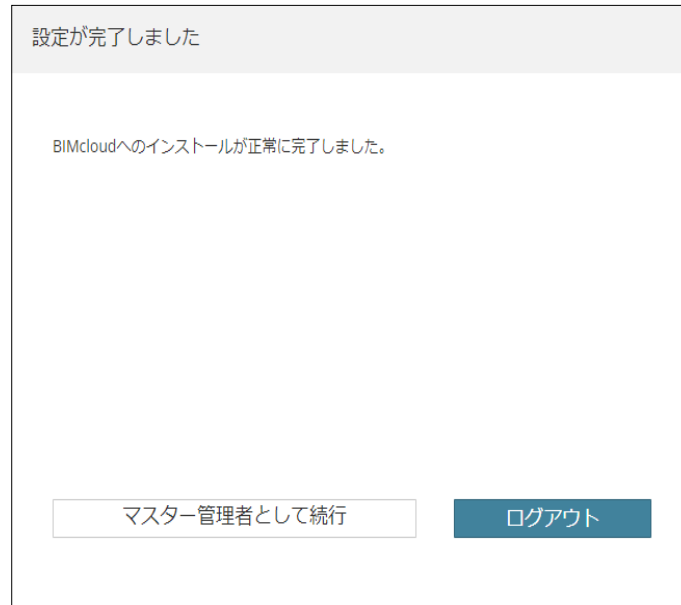
テストメールを送信

この設定をスキップ

続行

9. 設定完了

設定が完了すると次のメッセージが表示されます。

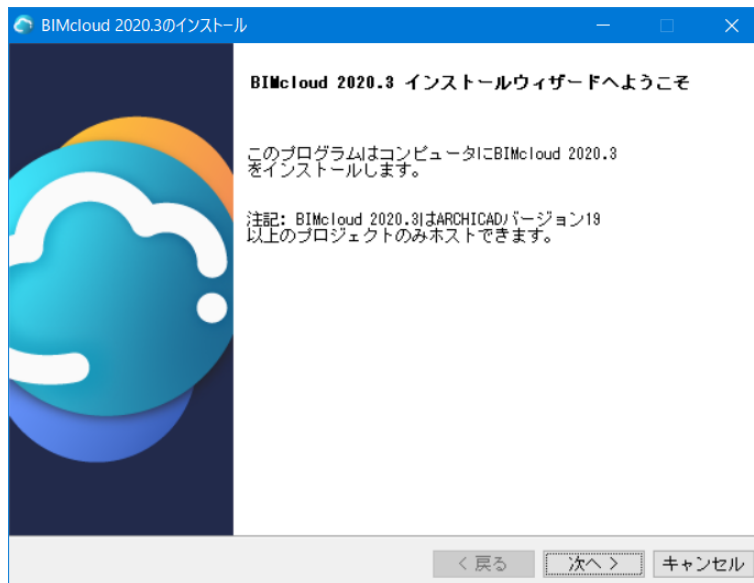


※別途 BIMcloud Server をインストールする必要があります。

BIMcloud BIMcloud Server のインストール

1. ダウンロードしたプログラムを実行

インストールプログラムを実行します。



2. 「単一コンポーネントのインストール」を選択



3. インストールするコンポーネントを選択

BIMcloud Server を選択します。



4. ライセンス契約に「同意」

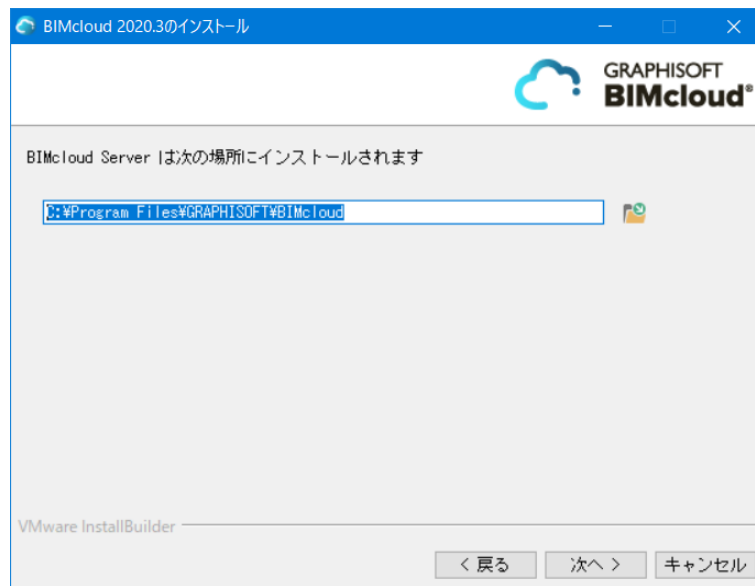
内容をご確認いただき、「同意します」にチェックを入れます。



BIMcloud

4. インストール先の選択

BIMcloud Server のインストール先を選択します。



5. インストール情報の表示

インストールをクリックしてインストールを開始します。



6. インストール完了

設定をクリックして続行します。

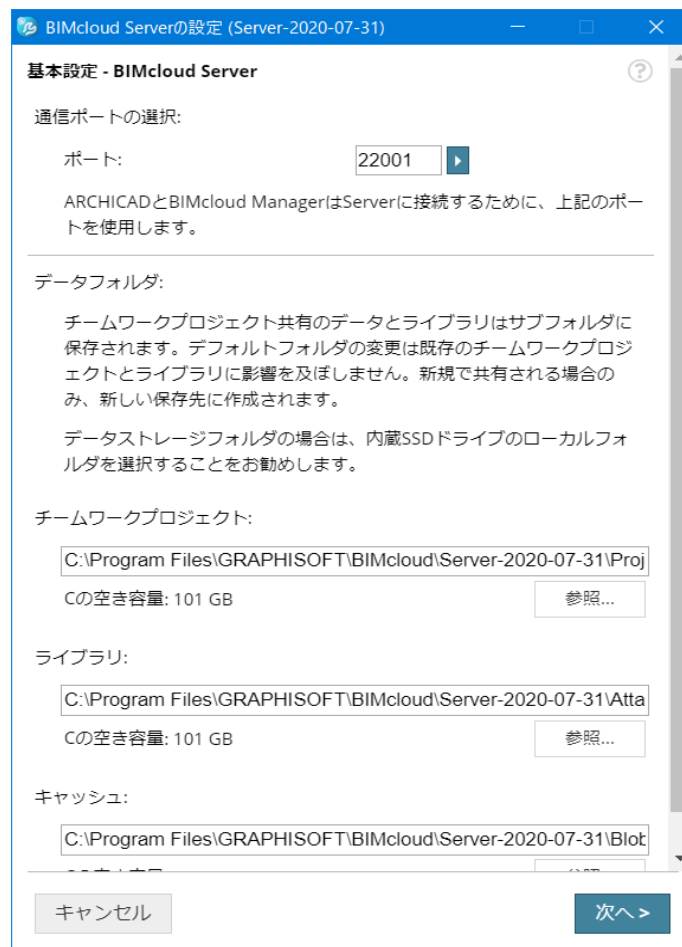


BIMcloud

BIMcloud Server の設定

1. BIMcloud Server の基本設定

通信ポートの設定、データの保存場所（プロジェクト、ライブラリ、キャッシュ）を設定します。

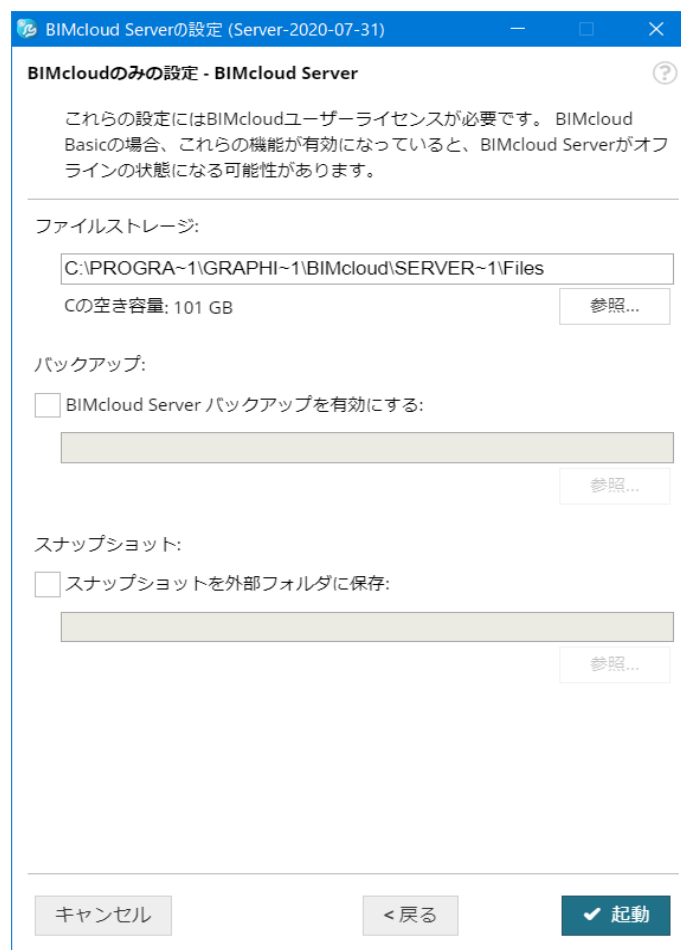


- ポート：空いているポートを自動的に選択しますのでそのまま使用するか、自動的に探してくれる右三角形の「未使用ポートの検索」を使用します。
- データフォルダ：プロジェクト、ライブラリおよびキャッシュのデフォルトデータフォルダの場所を入力または参照します。この設定は特に変更する必要はありません。
- この BIMcloud Server 上のチームワークプロジェクトおよびライブラリは、上記のフォルダに保存されます。
- デフォルトキャッシュフォルダには、一時チームワークデータが保存されます。これは、チームワーク処理の高速化に使用されます。

次へをクリックして設定を進めます。

2.BIMcloud Server のオプション設定

BIMcloud Server のオプションを設定します。



- ファイルストレージ

自動的にオンになっていますが、オフライン等にはなりません。

ユーザーライセンスがある場合はここで設定したフォルダにファイルが保存されます。

- BIMcloud Server バックアップを有効にする：

BIMcloud Server データのバックアップを作成する場合はこのボックスをオンにします。

このボックスをオンにした場合、

バックアップフォルダの保存先のパスを入力（または参照）する必要があります。

- スナップショットを外部フォルダに保存

デフォルトでは、プロジェクトファイルとライブラリスナップショットファイルは、

BIMcloud Server のインストールフォルダに保存され、.archive という拡張子が付きます。

任意で別のフォルダを選択できます。このボックスをオンにして、フォルダパスを参照します。

以後、スナップショットはこのフォルダ内に自動的に作成された次の3つのサブフォルダに保存されます。

- PLN スナップショット

- BIM プロジェクトスナップショット

- ライブラリスナップショット

設定が完了したら [起動] をクリックします。

BIMcloud

3. サーバーのペアリング

Manager に Server を認識させます。

BIMcloud Serverの設定 (Server-2020-09-17)

セキュリティ設定

それぞれのBIMcloud Serverが機能するには、BIMcloud Managerに接続(ペアリング)されている必要があります。BIMcloud Managerの認証キーを以下のフィールドに入力することで、BIMcloud Manager (次のキーで識別)の認証後、サーバーのコントロール、保存された内容のアクセスが可能になります。

BIMcloud Managerの認証キー:

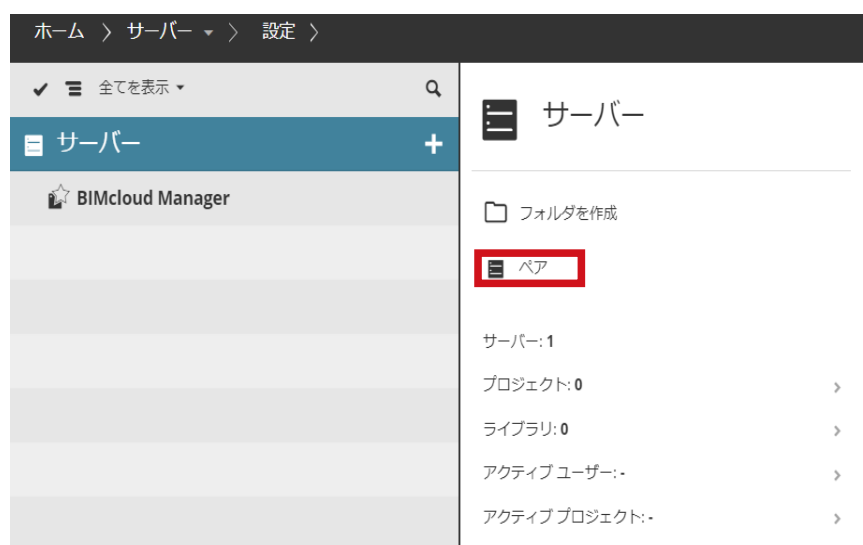
許可されていないBIMcloud Managerからの接続は常にブロックされます。

キャンセル < 戻る ✓ 再起動

認証キーは BIMcloud Manager の管理画面で確認できます。

65 ページの「管理画面の開き方」を参考に管理画面を開きます。

管理画面の「サーバー」に移動し「ペア」をクリックします。



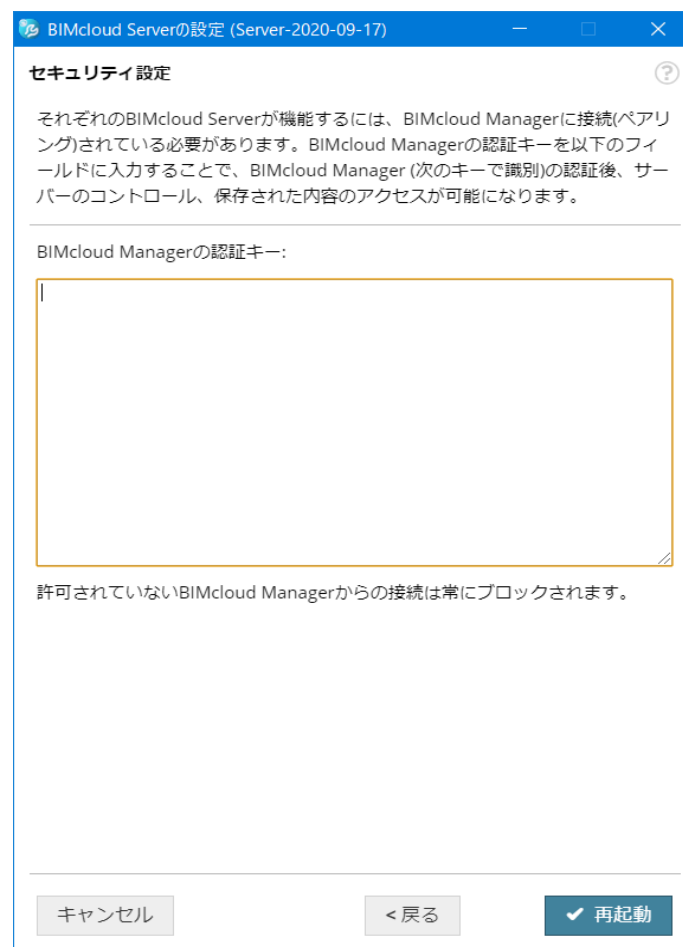
「新規 BIMcloud Server をペアリング」ダイアログが開きます。

「トークンを選択」をクリックし、選択された文字列を Ctrl+C でコピーします。

この画面は閉じずにサーバーの設定画面に戻ります。



先程コピーした文字列をサーバーの設定画面の入力欄に Ctrl+V で貼り付けます。



「起動」をクリックします。

起動が完了したら、再度管理画面に戻り「次へ」をクリックします。

BIMcloud

どのサーバーをペアリングするか選択します。

サーバーアドレスを入力する場合のポートは 58 ページの「1.BIMcloud Server の基本設定」で設定したポートになります。

BIMcloud Manager と同一の PC に server をインストールした場合は下段のリストから選択してください。

「次へ」をクリックして設定を進めます。



サーバーの名前を設定します。

認識しやすい名前を設定してください。

入力が完了したら「次へ」をクリックするとペアリングが完了します。



これで BIMcloud Server の設定は完了です。

ライセンスのダウンロード

BIMcloud では BIMcloud User License (BUL) が必要となります。

ライセンスのダウンロードには License Manager Tool (LMT) というソフトを使用します。

BIMcloud Manager がインストールされているサーバー /PC にて LMT を使用して BUL をダウンロードします。

以下の手順で作業を行ってください。

- 1.LMT のダウンロード / インストール
- 2.GRAPHISOFT ID でログイン
3. ライセンスのダウンロード

1.LMT のダウンロード / インストール

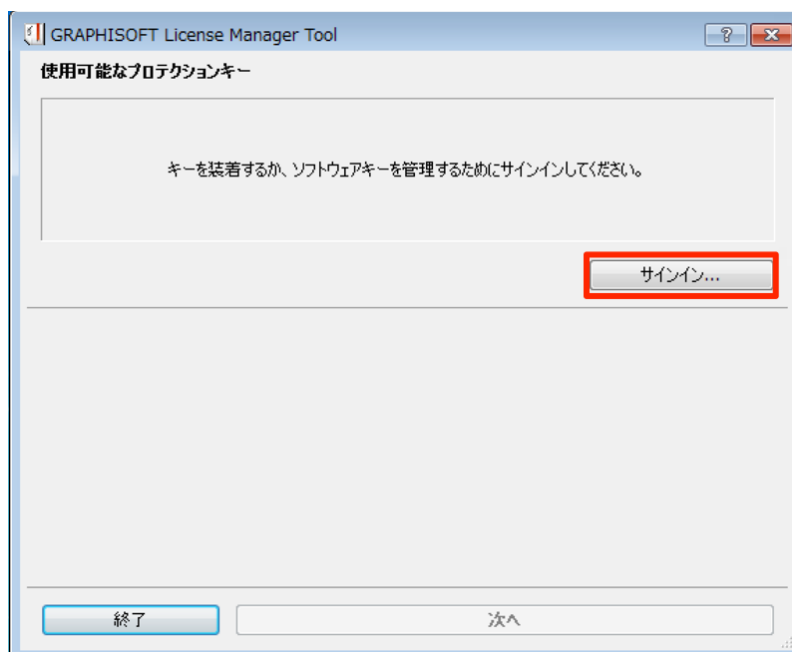
下記ページより LMT をダウンロードし、インストールします。

<https://graphisoft.com/jp/downloads/licensing/help/JPN/pc>

2.GRAPHISOFT ID でサインイン

LMT を実行します。

サインインをクリックします。



GRAPHISOFT.ID

ようこそ

GRAPHISOFT IDに関連付けられたメールアドレスとパスワードでログインしてください。
GRAPHISOFT IDをお持ちでない方は、「登録」をクリックしてIDを作成してください。

注記: License Manager Toolではメールアドレスとパスワードで認証する必要があります。GoogleとFacebookアカウントでのサインインはできませんご注意ください。また、GoogleアカウントまたはFacebookアカウントにGRAPHISOFT IDが接続されていて、パスワードが設定されていない場合は、こちらのウェブサイト、graphisoftid.graphisoft.comよりパスワードの設定を行ってください。

[アカウント登録](#)

サインイン

Email

パスワード

[サインイン](#)

[パスワードをお忘れですか?](#)

Social login has been revoked
Your account still exists, to use it please change your password with the **Forgot password** function.
[Learn More](#)

3. ライセンスのダウンロード

使用可能なプロテクションキーから使用したいシリアル No を選択し、ダウンロードボタンをクリックします。

あとはチームワークの際に Archicad からのアクセスがあると自動的にライセンスが割り当てられます。

ライセンスが表示されない場合

ライセンスを使用（ダウンロード）できるユーザーの設定がサインインしたアカウントに割り当てられていない、もしくは管理者のみになっています。

以下の方法で対処してください。

- 管理者の GRAPHISOFT ID でサインインする。
- 管理者に相談し、該当のユーザーもしくは、全員をライセンスを使用できるユーザーとして設定する。

管理画面の開き方

設定を行う際や、管理の際に使用する管理画面の開き方は3種類あります。

1. タスクトレイから開く方法（インストールされた PC のみ）

BIMcloud のインストールが完了した PC のタスクバーの右側にある△をクリックします。

ひし形のアイコンをもしくは雲形のアイコンをクリックすると”サーバー名 - 製品名”の形式で表示されます。

「BIMcloud Manager を開く」をクリックすると既定のブラウザで管理画面が表示されます。

2. インストールフォルダから開く方法（インストールされた PC のみ）

インストール時に設定したフォルダに自動的にショートカットが作成されています。

デフォルトの場合 C:\Program Files\GRAPHISOFT\BIMcloud

ショートカットをクリックすると既定のブラウザで管理画面が表示されます。

もしくは、インストール時に設定したフォルダに作成されたインストール日時のフォルダを探します。

デフォルトの場合 C:\Program Files\GRAPHISOFT\BIMcloud\Manager-<インストール日時>

フォルダ内にある「BIMcloud - Manager-<インストール日時>.exe」を実行します。

既定のブラウザで管理画面が表示されます。

3.URL で開く方法

Manager の設定時に設定した URL を使用してアクセスします。

ブラウザのアドレスバーに URL を入力すると管理画面が表示されます。

URL が分からない場合は上記の 1、2 の方法で管理画面を表示し、ホーム画面に移動すると中間の位置に URL が表示されていますので、そちらをご利用ください。

BIMcloud 簡易モードと詳細モードの違い

※この設定は後で設定することもできます。

構築を急ぐ場合は次の 68 ページの「役割について」に進んでください。

BIMcloud では役割を簡易モードと詳細モードによって管理することができます。

サーバー > BIMcloud Manager > 設定 > 一般設定

設定 LDAP ライセンス バックアップ アクティビティ

ステータス

バージョン: 2019.2 (23.0.44.725)

ホストコンピュータ: Toh5

インストールフォルダ: C:\Program Files\Graphisoft\BIMcloud\Manager-2019-04-04

一般設定 [保存] [キャンセル]

BIMcloud名: GRAPHISOFT Support

会社ロゴ (ログインページに表示されます): [アップロード] ログをアップロード (240x148ピクセル)
[ファイルを選択] 選択されていません

管理の役割:

- ☐ 簡易管理モード
2つの標準の管理者役割を使用して、BIMcloudアクセスをコントロールします。
- ☒ 詳細
異なる権限を含む管理者の役割を必要な数、作成します。すべてのBIMcloudのコンテンツに、詳細なアクセスを設定するためには、これらを使用して下さい。

公開鍵: -----BEGIN PUBLIC KEY-----
MIR6MANGGfSnG5Ih3DOPRACIJA4dGNADfRiOKRfDfCaFukuFn1xICAK7nkiTIQctwTv

簡易管理モード

ユーザー毎に管理モードを設定できます。

プロジェクト管理者またはサーバー管理者は、サーバー内の全てのプロジェクトの中身が表示されます。

ユーザー設定

プロフィール写真: [アップロード] 写真をアップロード
[ファイルを選択] 選択されていません

ユーザーカラー: [選択]

フルネーム: user01

ログイン名: user01

メール: support@graphisoft.co.jp

管理モード: サーバー管理者

役割: [設定なし] [プロジェクト管理者] [サーバー管理者]

所属グループ (3)

詳細モード

詳細モードでは「プロジェクト管理者」や「サーバー管理者」がなくなり、代わりに「役割」でプロジェクト管理者やサーバー管理者が行えることを割り当てることができるようになります。

役割のアクセス権に「管理」項目が追加され、チェックを入れた項目によりサーバー内のプロジェクトが表示できたり、アクセスができたりという細かい設定が行えます。



また、詳細モードではプロジェクト、ユーザー、役割、サーバーにそれぞれアクセスが追加されます。



各ページにアクセスしてよいかどうかを設定することができるようになります。

詳細については[プロジェクト毎のアクセス制限の設定< BIMcloud >](https://support.graphisoft.co.jp/hc/ja/articles/360021362593)をご確認ください。

(リンク先：<https://support.graphisoft.co.jp/hc/ja/articles/360021362593>)

BIMcloud 役割について

役割は、ユーザーまたはグループが BIMcloud Manager または Archicad チームワークプロジェクトの両方で、特定の要素タイプやデータタイプに対して何ができるかの設定です。

役割と役割に対するアクセス権を表示および変更するには、[役割] ページを使用します。



選択した役割ごとに [設定] パネルが使用できます。

これらのコントロールを使用して、役割に対してアクセス権を定義します。



役割の詳細な設定項目については

[アクセス権のリスト](#)をご確認ください。

(リンク先：https://help.graphisoft.com/BC/JPN/index.htm?rhcsh=1&rhnewwnd=0#t=_BIMcloud_%2F30_BIMcloudManager%2F30_BIMcloudManager-97.htm)

ユーザー / グループの作成・追加

BIMcloud Manager の管理画面を開きます。(65 ページの「管理画面の開き方」を参照してください。)

48 ページの「BIMcloud Manager の設定」で入力した” masteradmin” もしくは

51 ページの「5. 最初のユーザーを作成」で作成したユーザーでログインします。

ユーザーの作成

ホーム画面のメニューの「ユーザー」をクリックします。

※ BIMcloud のバージョンによって少し位置が変わります。



サイドバーの「+」から「ユーザー作成」をクリックします。



必要事項を入力し、「次へ」をクリックします。ログイン名は変更できませんのでご注意ください。

BIMcloud

メールアドレス、管理者モード、役割を設定し、保存をします。

Archicad から BIMcloud にログインするときは、ログイン名と前の画面のパスワードを使用します。

グループの作成

ホーム画面のメニューの「ユーザー」をクリックします。

※ BIMcloud のバージョンによって少し位置が変わります。



サイドバーの「+」から「グループ作成」をクリックします。



グループ名を入力し、「作成」をクリックします。

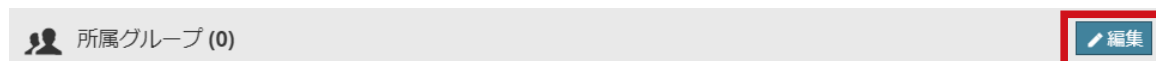
グループへの追加

グループへの追加方法は以下の二通りの方法があります。どちらから追加しても結果は同じです。

- ・ユーザーをグループに追加する方法
- ・グループにユーザーを追加する方法

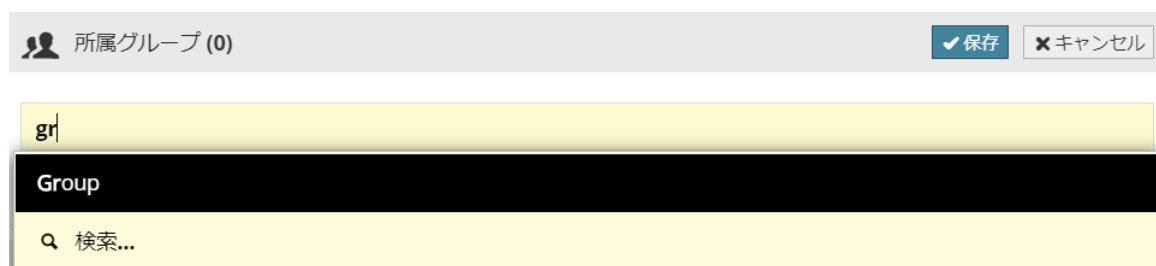
・ユーザーをグループに追加する方法

1. 追加したいユーザーを選択します。
2. 右の設定ページ内の「所属グループ」にて編集をクリックします。

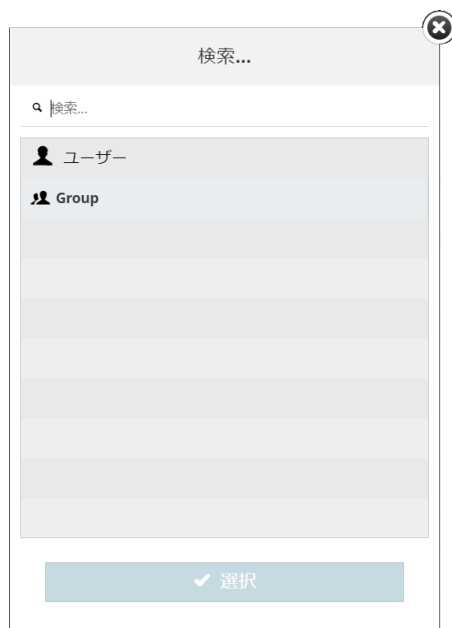


このユーザーは、どのグループのメンバーにも属していません。

3. グループ名の最初の数文字を入力すると出てくる候補を選択するか



検索をクリックしてグループを選択します。



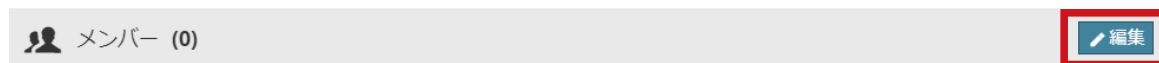
追加出来たら現在追加されているグループ名が下部に表示されます。保存をクリックして完了です。



BIMcloud

・グループにユーザーを追加する方法

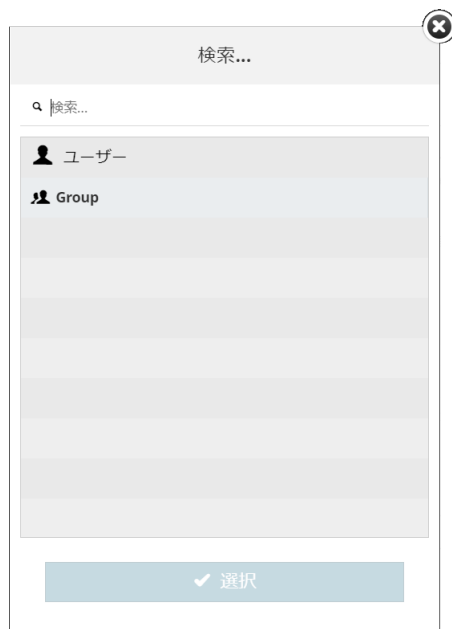
1. 追加したいグループを選択します。
2. 右の設定ページ内の「メンバー」にて編集をクリックします。



3. ユーザー名の最初の数文字を入力すると出てくる候補を選択するか



検索をクリックしてユーザーを選択します。



追加出来たら現在追加されているユーザー名が下部に表示されます。保存をクリックして完了です。



プロジェクトの共有 / 参加 フォルダの作成方法

BIMcloud では、チームワークプロジェクトを共有するための保存先をフォルダ階層で分けて管理できます。

BIMcloud Manager の管理画面を開きます。(65 ページの「管理画面の開き方」を参照してください。)

ホーム画面のメニューの「プロジェクト」をクリックします。

※ BIMcloud のバージョンによって少し位置が変わります。



「プロジェクト」の右側の「+」をクリックして、「フォルダを作成」をクリックします。



フォルダ名を入力し、「作成」をクリックします。



BIMcloud プロジェクトを共有する

BIMcloud へのプロジェクト共有 / 参加は、Archicad から行います。

どちらも BIMcloud のユーザーでログインして行いますので、

事前に共有 / 参加するユーザーをご準備ください。(69 ページの「ユーザーの作成」を参照してください。)

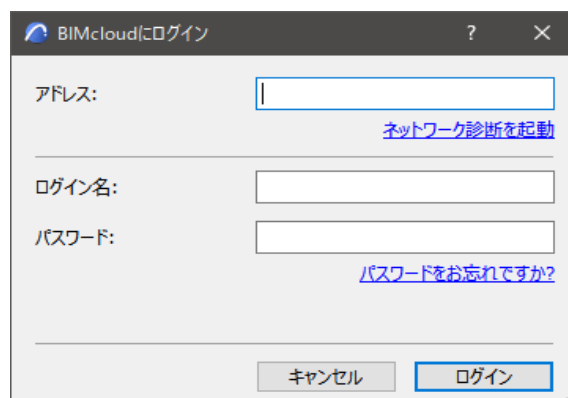
Archicad を起動します。新規に作成するか、もしくは既にプロジェクトがある場合はそちらを開きます。

[チームワーク] > [プロジェクト] > [共有] をクリックします。



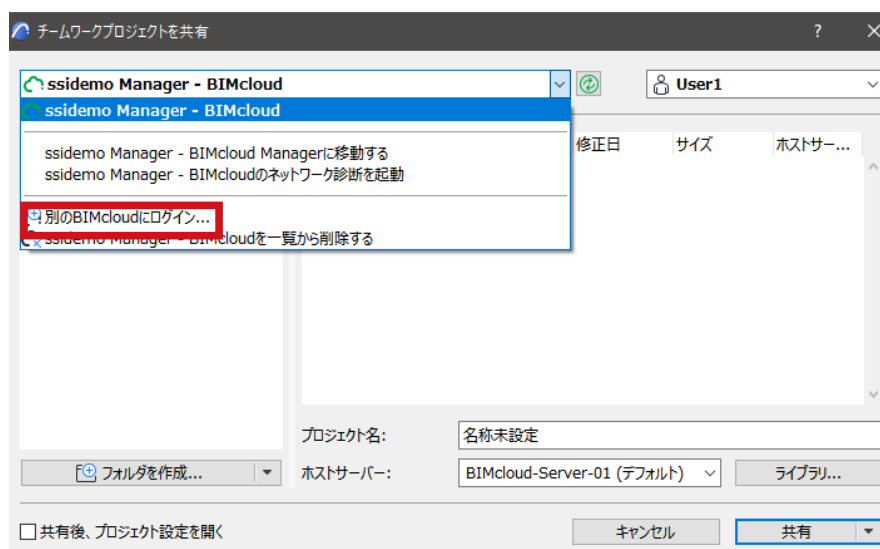
初めてチームワークを行う場合はログイン画面が表示されます。

BIMcloud のアドレス、参加するユーザー名とパスワードを入力します。

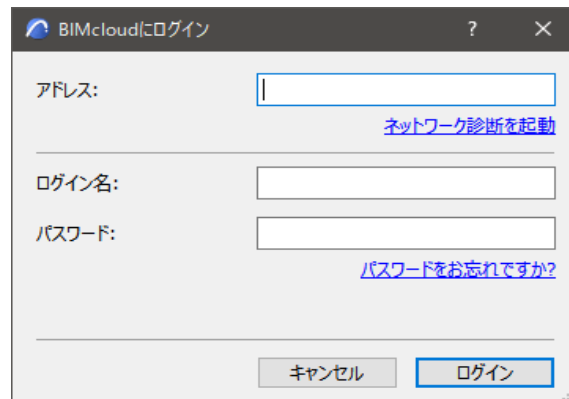


既に参加したことのある場合は、プロジェクトを共有したいサーバーを選択します。

新規のサーバーに共有したい場合は、「別の BIMcloud にログイン…」を選択します。

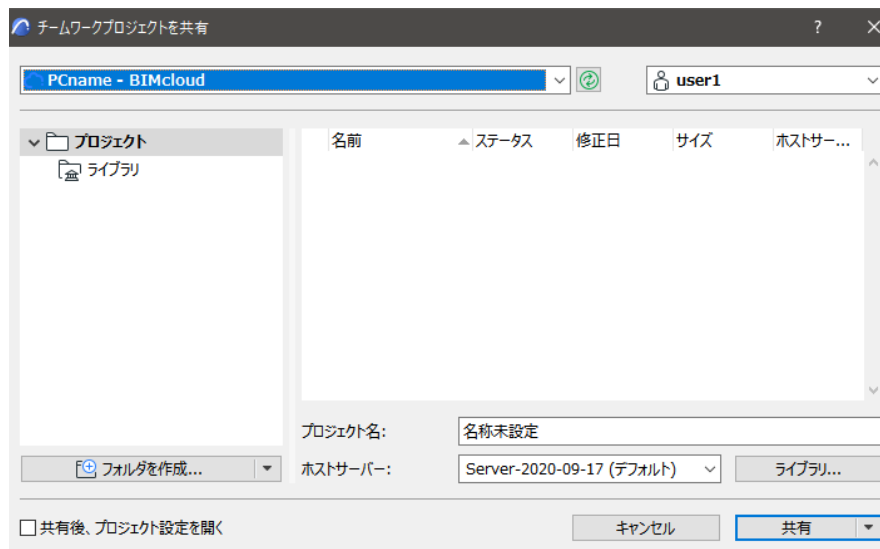


ログイン画面が表示されますので、
BIMcloud のアドレス、参加するユーザー名とパスワードを入力します。



この図は、BIMcloud へのログイン画面のスクリーンショットです。ウィンドウのタイトルは「BIMcloudにログイン」です。画面には、アドレス、ログイン名、パスワードの入力欄があります。アドレス欄の右側には「ネットワーク診断を起動」のリンクがあります。パスワード欄の右側には「パスワードをお忘れですか?」のリンクがあります。画面の下部には「キャンセル」と「ログイン」のボタンがあります。

ログインが完了しましたら、共有先を選択し共有をクリックします。
(共有ボタンの右にある▼をクリックすると参加せずに共有のみ行えます。)



この図は、チームワークプロジェクトを共有する画面のスクリーンショットです。ウィンドウのタイトルは「チームワークプロジェクトを共有」です。画面の上部には「PName - BIMcloud」のドロップダウンメニューと「user1」のユーザー名が表示されています。中央には、プロジェクトのリストが表示されるテーブルがあります。テーブルの列は「名前」、「ステータス」、「修正日」、「サイズ」、「ホストサー…」です。左側には「プロジェクト」のフォルダと「ライブラリ」のアイコンがあります。下部には「プロジェクト名: 名称未設定」と「ホストサーバー: Server-2020-09-17 (デフォルト)」が表示されています。また、「フォルダを作成...」のボタンと「ライブラリ...」のボタンがあります。画面の最下部には「共有後、プロジェクト設定を開く」のチェックボックスと「キャンセル」と「共有」のボタンがあります。

BIMcloud プロジェクトに参加する

Archicad を起動します。

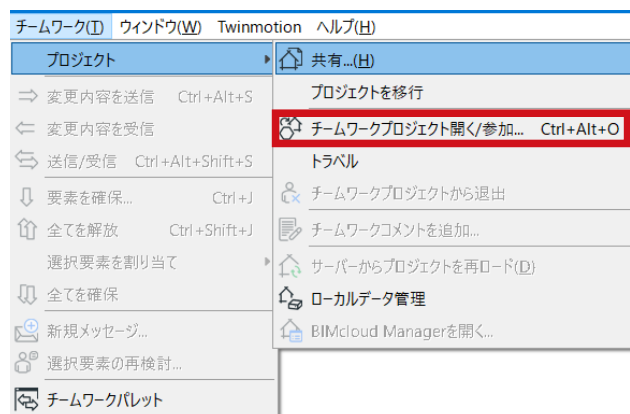
Archicad24 の場合は「Archicad 24 を起動」画面が表示されますので

チームワークを選択します。



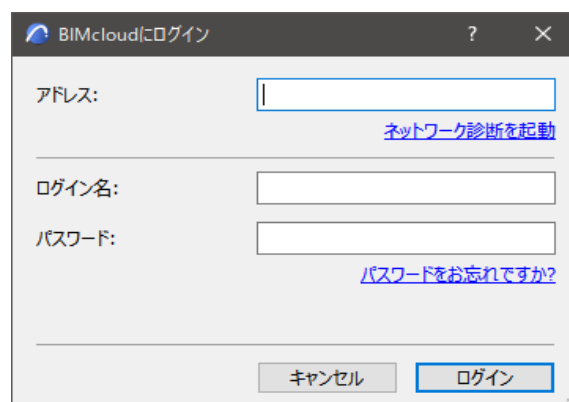
プロジェクトを開いている画面からは

[チームワーク]>[プロジェクト]>[チームワークプロジェクト開く / 参加] をクリックします。

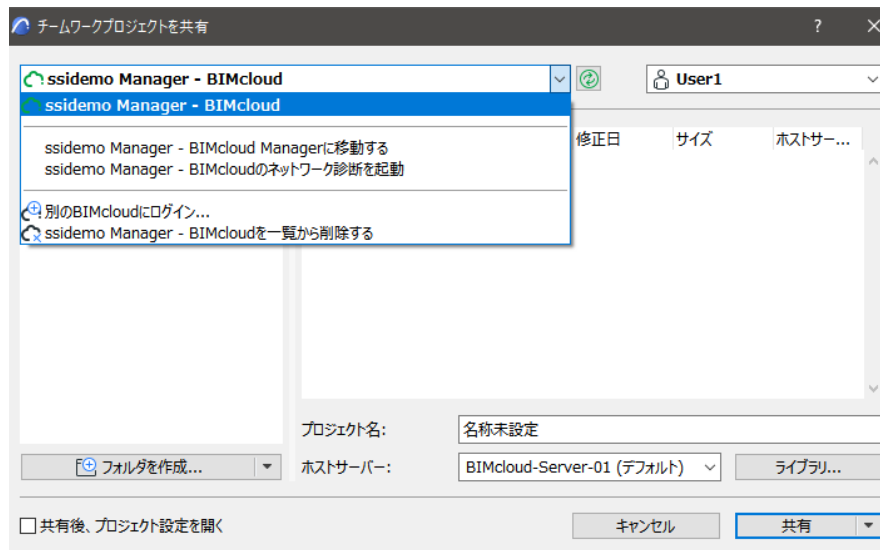


初めてチームワークに参加する場合はログイン画面が表示されます。

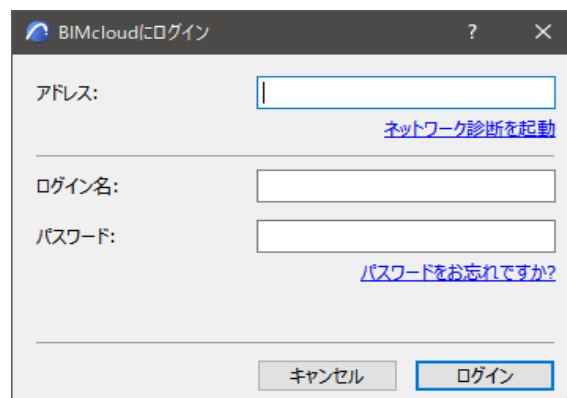
BIMcloud のアドレス、参加するユーザー名とパスワードを入力します。



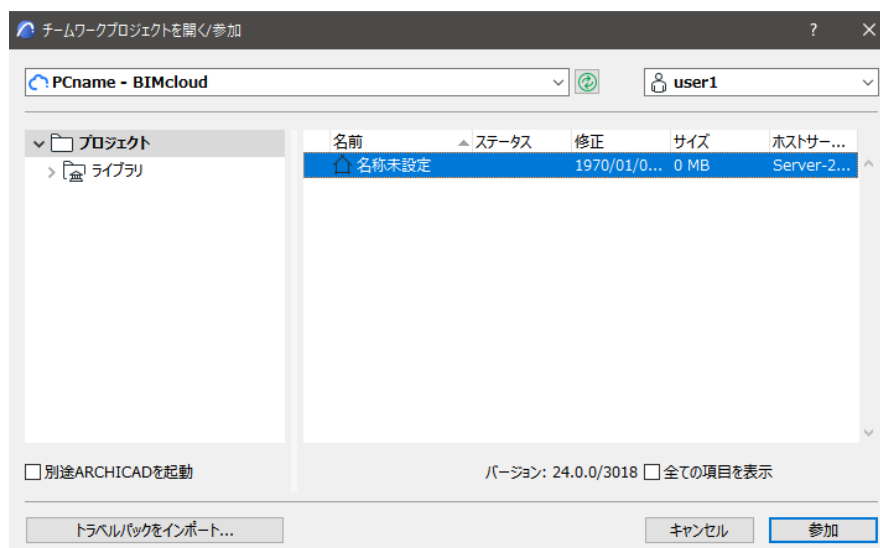
既に参加したことのある場合は、プロジェクトが共有されているサーバーを選択します。
別のサーバーに参加したい場合は、「別の BIMcloud にログイン…」を選択します。



ログイン画面が表示された場合は、
BIMcloud のアドレス、参加するユーザー名とパスワードを入力します。
※アドレスが既に入力されている場合は自分が参加したいサーバと一致しているか確認してください。



ログインが完了しましたら、参加したいプロジェクトを選択し参加をクリックします。



BIMcloud ライブラリの共有

ライブラリの共有は、プランを共有した際に自動的に行われます。

別途ライブラリを共有したい場合は Archicad から行います。

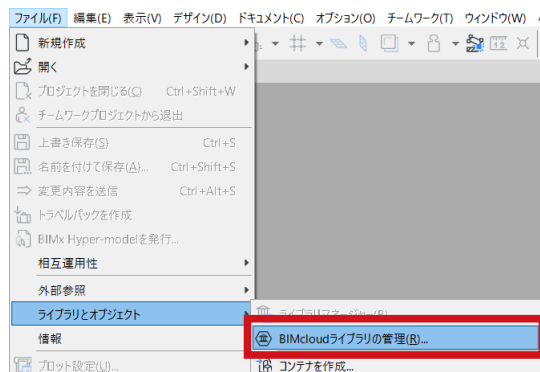
BIMcloud のユーザーでログインして行いますので、

事前に共有するユーザーをご準備ください。(69 ページの「ユーザーの作成」を参照してください。)

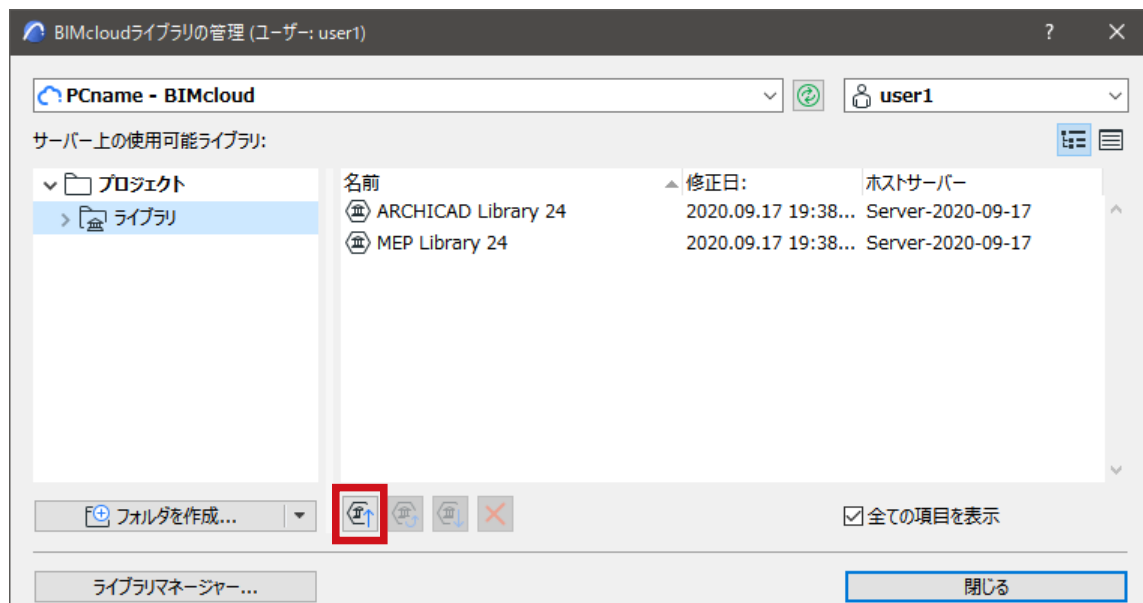
1. Archicad を起動し

「ファイル」>「ライブラリとオブジェクト」>「BIMcloud ライブラリを管理」をクリックします。

「BIMcloud ライブラリ管理」ウィンドウを開きます。



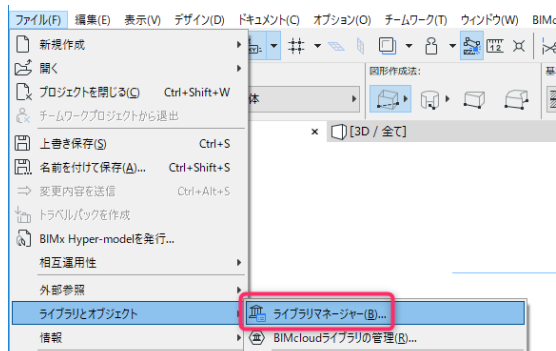
2. 「アップロード」をクリックし、対象のライブラリフォルダをアップロードします。



アップロードが完了したらプロジェクトにライブラリを追加します。

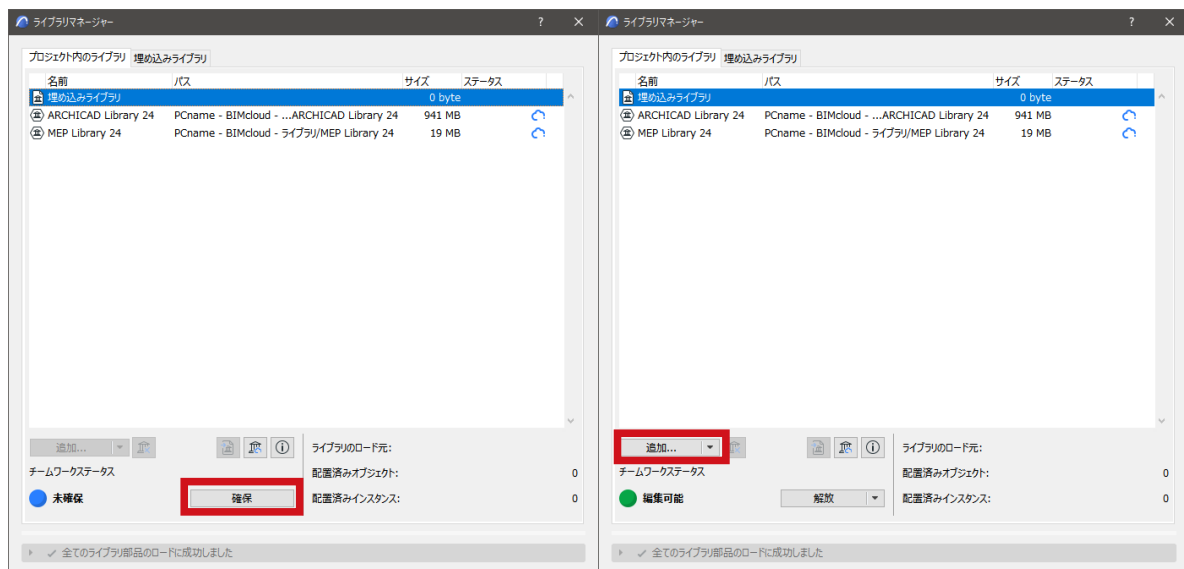
3. プロジェクトにライブラリを追加しますので、プロジェクトに参加します。

参加後、「ファイル」>「ライブラリとオブジェクト」>「ライブラリマネージャー」をクリックし、「ライブラリマネージャー」を開きます。



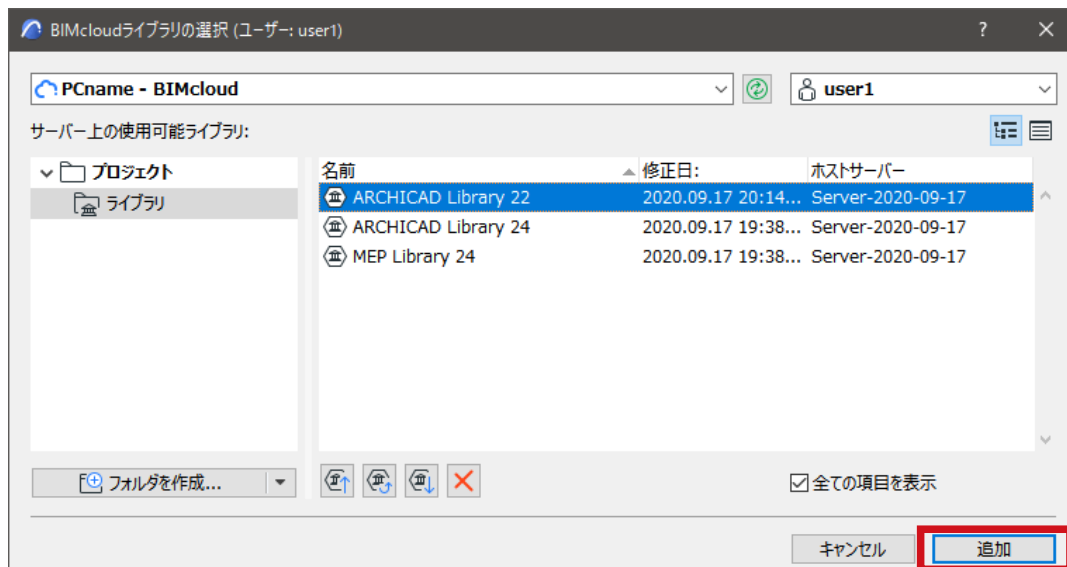
4. ウィンドウ内「確保」ボタンをクリックし、確保します。

「解放」ボタンが表示が変更されます。次に「追加」をクリックします。

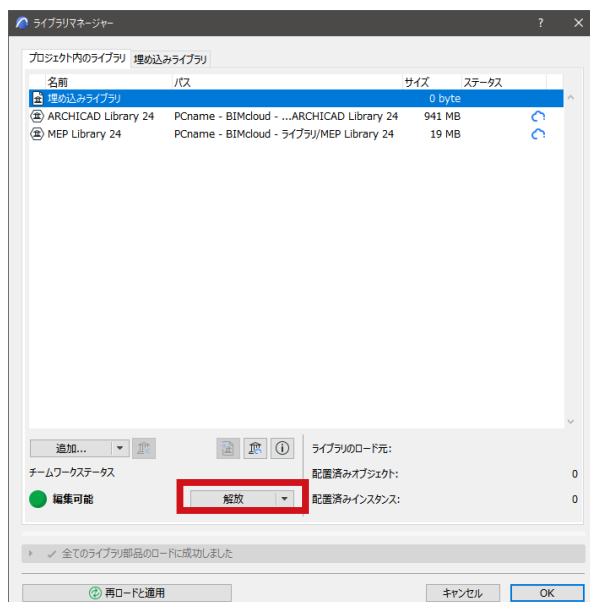


BIMcloud

5.2 でアップロードしたライブラリをリスト内から選んで「追加」をクリックします。



6.4 のウィンドウに戻った際、「解放」をクリック。



7. 最後に、「OK」ボタンをクリックします。

これでライブラリの追加が完了しました

設定の開き方

BIMcloud/BIMcloud Basic の設定を確認・変更したい場合は以下の手順で設定を開いてください。

注意：設定は BIMcloud Manager /Server がインストールされているサーバー /PC でのみ開けます。

1. タスクトレイから開く方法

BIMcloud Manager /Server がインストールされているサーバー /PC の

タスクバーの右側にあるをクリックします。

ひし形のアイコンもしくは雲形のアイコンをクリックすると”サーバー名-製品名”の形式で表示されます。

「設定」をクリックすると設定画面が表示されます。

※アイコンが表示されていない場合やこの方法で開けない場合は2をお試しください。

2. インストールフォルダから開く方法

インストール時に設定したフォルダにある以下のプログラムを実行してください。

Manager（デフォルトの場合）：

「C:\Program Files\GRAPHISOFT\BIMcloud\Manager-<インストール日 >\BIMcloud Manager Configurator\
BIMcloud Manager Configurator.exe」

Server（デフォルトの場合）：

「C:\Program Files\GRAPHISOFT\BIMcloud\Server-<インストール日 >\BIMcloud Server Configurator\
BIMcloud Server Configurator.exe」

プログラムを実行すると設定画面が表示されます。

トラブルシューティングチェックリスト

BIMcloud に問題が発生した場合、まず下記の項目を確認ください。BIMcloud に問題が発生している場合、BIMcloud 上のプロジェクト作業が大きく阻害されているため、クライアント（Archicad）のほとんどが影響を受けます。

チームワーク動作が可能だがパフォーマンスが遅い場合

ほとんどのユーザー（または全てのユーザー）のパフォーマンスが極端に遅い場合は、Archicad をすべて終了するか、チームワーク操作を制限する（送信 / 受信 / 確保 / 解放しない）。その後、Archicad を開始し、再度チームワークをチェックします。

ネットワーク診断を行い、通信の確認を行う

Archicad の「チームワークプロジェクトを開く / 参加する」ダイアログの「接続の確認」（バージョン 18）または「ネットワーク診断の実行」（バージョン 19 以降）機能を使用し、通信ができているかを確認します。

リバースプロキシがインストールされている場合

プロキシを再起動します。

BIMcloud Server のディスクストレージ容量を確認する

BIMcloud Server がインストールされているハードドライブの空き容量を確認します。ストレージスペースの少なくとも 15% の空きが必要です。ブラウザで BIMcloud Manager のユーザーインターフェイスを開き、「サーバー」パネルで確認します。

BIMcloud Manager/Server が動作しているかを確認する

ブラウザで BIMcloud Manager のユーザーインターフェイスを開き、BIM クラウドサーバーのステータスを「サーバー」パネルで確認します。ステータスが「停止している」場合は、サーバーモジュールを起動して 2 分以上待つってから、ブラウザウィンドウを更新してください。

BIMcloud ユーザーライセンス数を確認する

[サーバー] パネルで使用可能なライセンスを確認します。ライセンスが利用できない場合は、CodeMeter を開き、ライセンスが保存されているコンピュータで CodeMeter サービスを再起動します。少なくとも 5 分間待ちます。

BIMcloud が動作している PC の状態を確認する

タスクマネージャ（Windows）またはアクティビティモニタ（OS X）を開き、CPU / メモリ / ネットワーク / ディスクの使用状況を確認してください。別のアプリケーションがほぼすべてのリソースを使用している場合、BIMcloud の適切な操作が妨げられる可能性があります。

1. サービスを再起動するか（Windows の場合）、またはデーモンを（OS X の場合）手動で起動します。
2. サーバーコンピュータを再起動します。

コンピュータを再起動しても問題が解決しない場合は、GRAPHISOFT サポートにお問い合わせください。

よくある質問

- ・複数バージョンの設定手順について

BIMcloud Basic

BIMcloud Basic は単独の Archicad バージョンのサポートとなりますので、複数のバージョンでご利用いただく場合には Archicad のバージョンごとに BIMcloud Basic を構築する必要があります。一つのバージョンのインストールが完了したら、再度インストーラーを実行し、22 ページの「6. 製品プランの選択」の際に BIMcloud Basic を選択し別の Archicad のバージョンを選択します。

BIMcloud

BIMcloud は複数の Archicad バージョンをサポートしておりますので各バージョンの Archicad から共有を行ってください。

- ・オフラインになったときの対処方法

[チームワークプロジェクトで Archicad 使用時にオフラインの状態になる](#)をご確認ください。

(リンク先：<https://helpcenter.graphisoft.com/jp/knowledgebase/63240/>)

- ・サーバーにアクセスできないときのチェック項目と対処方法

[Archicad から BIMcloud/BIM サーバーにユーザーがアクセスできない](#)をご確認ください。

(リンク先：<https://helpcenter.graphisoft.com/jp/knowledgebase/63239/>)

その他にも[よくある質問](#)にもよくある質問を掲載しております。

(リンク先：<https://support.graphisoft.co.jp/hc/ja/sections/115002647428>)

発行・お問い合わせ
グラフィソフト ジャパン株式会社
〒107-0052
東京都港区赤坂 3-2-12 赤坂ノアビル 4F

<http://www.graphisoft.co.jp/>

本書の全て、または一部を複製、加工することはできません。

2020/10/01

